倉敷埋蔵文化財センター年報 16

ー平成 27・28 年度ー

倉敷埋蔵文化財センター

2018.3

序　文

倉敷埋蔵文化財センターは、平成５年の開館以来、発掘調査による市内の埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るとともに、遺跡見学会や考古学講座、古代に触れる体験講座など各種講座を実施し、埋蔵文化財に対する市民の理解と認識を深めてきました。

発掘調査は主に確認調査ですが、昨今の開発行為等の増加に伴い、調査件数も徐々に増加しています。埋蔵文化財に対する業者意識の高まりもあり、届出、確認調査ともに適切な対応がなされています。

平成28年度には農業基盤整備事業に伴って実施した門ノ前遺跡の全面調査により、中世の掘立柱建物１棟が確認されました。詳細は本書に掲載していますが、中世の建物遺構として当時の人々の生活を知る貴重な手掛かりになると考えています。

また、調査報告書として「倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第16集」を刊行し、これまで幾年にもわたり発掘調査をしてきた酒津・水江遺跡と、開発に伴う上水島遺跡の範囲確認調査成果を取りまとめ、広く一般に公開することができました。

当センターは埋蔵文化財を保護・保存するための市内で唯一の施設として、発掘調査とともに、展示や各種講座を開催し、多くの市民に利用していただき、郷土の歴史や埋蔵文化財に対する理解を深めていただいています。これからも主催講座、出前講座の内容を吟味し、また､展示室の充実を図りながら市民に愛される館にしてまいります。

本年報は、平成27・28年度に実施した発掘調査事業ならびに教育普及事業についての概要をまとめたものです。本書が郷土の歴史や埋蔵文化財に対する市民の一層の理解を深めるため、少なからずお役に立てれば幸いです。

最後になりましたが、各種事業の実施にあたりまして、ご指導ご協力ならびにご参加いただきました皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月31日

倉敷埋蔵文化財センター
館 長　中原誠二

目　次

■平成27年度■

Ⅰ 組織 ……1
Ⅱ 事業の概要 ……1
Ⅲ 教育普及事業報告 ……5
Ⅳ 調査事業報告 ……7
玉島陶中地区（第2次）試掘調査報告 ……11
屋敷ノ内古墳発掘調査報告 ……12
福田貝塚確認調査報告 ……16
上東遺跡確認調査報告 ……17
尾崎東谷遺跡確認調査報告 ……18
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……19

■平成28年度■

Ⅰ 組織 ……29
Ⅱ 事業の概要 ……29
Ⅲ 教育普及事業報告 ……33
Ⅳ 調査事業報告 ……35
上東遺跡確認調査報告 ……39
釜屋ノ上遺跡確認調査報告 ……40
門ノ前遺跡発掘調査報告 ……41
上東遺跡確認調査報告 ……44
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……45

例　言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成27～28年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、中原誠二・小野雅明・藤原好二・内田智美・那須玲子が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

平成27（2015）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成27年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	副参事（兼）課長	福本　明
埋蔵文化財センター	館　長	鍵谷 守秀
〃	主　幹	小野 雅明
〃	主　任	藤原 好二
〃	嘱託職員	内田 智美
〃	〃	杉浦 美保
〃	〃	那須 玲子

（職名等は平成28年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1　調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は297件と前年度比で約28％の大幅減であった。このうち埋蔵文化財包蔵地に含まれる事案については、文化財保護法に基づく届出提出を指導した。また、開発指導要綱に基づく事前協議は5件、墓地経営許可に関する事前協議は7件であった。このうち上東遺跡と福田貝塚に係る2件について文化財保護法に基づく届出が提出された。

(2) 発掘調査　平成27年度は全面調査1件、試掘調査1件、確認調査3件、立会調査を延べ38件実施した。屋敷ノ内古墳で実施した全面調査は道路敷地に係る範囲のみであったが、古代の土器とともに鉄滓が検出された。昨年度に引き続き実施した玉島陶中地区の試掘調査では少量の須恵器片が確認されたが、遺構などは検出されなかった。確認調査については、福田貝塚と上東遺跡が民間の宅地造成工事、尾崎東谷遺跡が公共事業に伴うものであった。いずれも少量の遺物が出土しただけであり、遺構は確認されなかった。立会調査は、公共事業に伴うものが27件、民間の開発に伴うものが11件である。

(3) 整理作業　酒津山45号墳の埴輪や庄城跡の中世土器等、確認調査で出土した遺物の水洗・整理を実施した。

2　教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、計21回の講座等を実施。延べ参加人数3,731人。

講座・イベント名	実施日	内　容	参加人数
春の遺跡見学会⑳	5/10（日）	備前市の遺跡を訪ねる	30人
古代の土笛を作ろう	7/22（水）	はにわ粘土を用いた土笛作り	19人
人のはにわを作ろう	7/26（日）	ミニチュアの人物はにわ作り	13人
七宝焼きのバッジ作り	7/29（水）	七宝焼きのオリジナルバッジ作り	11人
古代編みのコースター作り	8/2（日）	縄文編みによるコースター作り	14人
ガラスでとんぼ玉を作ろう	8/5（水）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	12人
ミニチュアの古代鏡を作ろう	8/9（日）	低融点合金を用いたミニチュア鏡作り	8人
古代の勾玉を作ろう	8/12（水）	高麗石を用いた勾玉作り	20人
管玉のブレスレットを作ろう	8/16（日）	高麗石を用いたブレスレット作り	18人
ライフパークの集い	8/23（日）	ミニチュア土器等の発掘体験	2,579人
秋の考古学講座 「遺物からみた弥生の祭祀」	10/3（土）	勾玉から探る吉備の祭祀	28人
〃	10/10（土）	分銅形土製品と吉備弥生社会	27人
〃	10/17（土）	吉備の青銅器とマツリ	28人
大人の勾玉ストラップ	11/11（水）	高麗石を用いた勾玉作り	9人
七宝焼きのブローチ作り	11/18（水）	七宝焼きのオリジナルブローチ作り	8人
とんぼ玉のアクセサリー	11/25（水）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	10人
こどもまつり	1/31（日）	とんぼ玉ストラップ作り	842人
簡単！螺鈿の卓上ホルダー	2/13（土）	螺鈿細工の卓上ホルダー作り	8人
大人のランプシェード	2/20（土）	紙細工によるランプシェード作り	7人
山城探訪	3/3（木）	備中猿掛城を歩く	26人
とんぼ玉のアクセサリー②	3/5（土）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	14人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛作り等、計14回の派遣。延べ参加人数338人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/20（水）	倉敷芸術科学大学	31人
野外博物館実習	5/30（土）	岡山理科大学	27人
古代の土笛作り	6/5（金）	東雲保育園	9人
〃	7/15（水）	広江生き生きサロン	40人
〃	7/28（火）	二福のびのびクラブ（第二福田小学校内）	16人

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
古代の土笛作り	7/30（木）	エコ・ロジ ネットワーク	5人
〃	8/4（火）	倉敷夢クラブ（倉敷西小学校内）	17人
〃	8/20（木）	四福小児童クラブ（第四福田小学校内）	46人
〃	8/21（金）	四福小児童クラブ（第四福田小学校内）	68人
博物館見学実習	10/18（日）	くらしき作陽大学	7人
古代の土笛作り	10/28（水）	ふれあい教室 真備分室	12人
七宝焼きのバッジ作り	11/20（金）	倉敷教育センター	12人
ひさしやま学習	12/3（木）	倉敷市立庄小学校	39人
古代の土笛作り	3/11（金）	岡山県立倉敷琴浦高等支援学校	9人

(3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報15
　Ａ４判　本文56頁　500部　平成28年3月刊行

(4) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
5/14（木）～ 5/19（火）	総社市秦原廃寺出土 単弁八葉蓮華紋瓦　1点	総社市教育委員会	シンポジウム 『古代吉備と秦の古墳群』 にて展示
7/17（金）～ 9/4（金）	池尻遺跡出土製塩土器　2点 広江・浜遺跡出土 製塩土器　9点	井原市 文化財センター	夏季企画展 「吉備と塩づくり」にて展示
10/16（金）～ 12/15（火）	矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪　1点	八代市立博物館	平成27年度秋季特別展 「交流する弥生人」にて展示
10/20（火）～ 1/5（火）	矢部出土竜形土製品　1点	岡山県立博物館	平成27年度特別展 「発掘された日本列島2015」 にて展示
12/10（木）～ 1/27（水）	矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪　1点	岡山市教育委員会 （岡山シティミュージアム）	平成27年度企画展 「直弧文の世界」にて展示
1/5（火）～ 4/15（金）	矢部出土竜形土製品　1点	岡山県古代吉備 文化財センター	レプリカを作成し、 県センターにて展示

(5) 写真等の掲載許可

許可日	資料名・数量	許可先	掲載物
6/28（日）	塩生遺跡検出炉跡　1点 広江・浜遺跡検出 土器溜まり　1点	井原市 文化財センター	夏季企画展「吉備と塩づくり」 展示パネル
6/30（火）	楯築遺跡弧帯文石　1点 矢部出土竜形土製品　1点	（株）新泉社	設楽博己編著 『十二支になった動物たちの考古学』
8/12（水）	矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪　1点	八代市立博物館	平成27年度秋季特別展 「交流する弥生人」図録

3　利用者数

展示・講座等を含めた平成27年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は15,314人で、昨年度比約1.7％の微増となった。主催講座の充実だけで利用者数増を目指すのは限界であり、開館後、20年以上を経た展示室の更新も考えていくべき時期にさしかかっていると思われる。

《平成27年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	304	482		786	26	30
5	425	637	88	1,150	27	43
6	330	355	9	694	25	28
7	526	668	113	1,307	27	48
8	866	1,053	2,782	4,701	26	180
9	324	465		789	26	30
10	261	306	104	671	27	25
11	382	419	39	840	25	34
12	244	248	39	531	24	22
1	190	173	842	1,205	24	50
2	839	654	15	1,508	24	63
3	522	561	49	1,132	27	42
合計	5,213人	6,021人	4,080人	15,314人	308日	50人

Ⅲ 教育普及事業報告

1　春の遺跡見学会⑳
～備前市の遺跡を訪ねる～

日　時　平成27年5月10日（日）
講　師　石井 啓（備前市教育委員会）
　　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　30人

備前市教育委員会の石井啓氏を講師に迎え、国指定史跡「備前陶器窯跡」をメインとするコースを巡った。伊部南大窯跡では、発掘調査の成果をもとにした詳しい解説をお聞きした。全長50ｍを超える巨大な東側窯跡やそれに並列する窯跡群を見て歩き、備前焼の失敗作が積み重なる「物原」の説明を受けながら、大窯での生産について学んだ。次に、伊部北大窯跡に向かい、備前焼の生産が岡山藩の保護と統制下に置かれていたようすが文献資料を通して説明された。続いて、天保窯では、窯の構造変化と時代背景について説明された。江戸時代後期になると、広域に流通していた備前焼も、軽く扱いやすい陶磁器や関西産の焼き物に押され、低迷期を迎えた。そこで、大窯より生産効率の良い連房式登窯を採用し苦境を乗り超えた。天保窯は備前焼の生き残りをかけた画期的な窯であることが理解された。その後、昼の休憩時間を利用して備前市埋蔵文化財管理センターの展示室で大甕、擂鉢などの資料を見学した。午後からは備前焼窯元を訪ね、現在の生産現場を見学した。備前焼の歴史を満喫した一日であった。

2　夏休み体験講座
～人のはにわを作ろう～

日　時　平成27年7月26日（日）
講　師　那須玲子（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学5・6年生
参加者　13人

「踊る人のはにわ」をモデルに、乾燥後にオーブンで焼成できる粘土を使って高さ10㎝程度のはにわを作る講座。親指に粘土を巻き付けて基礎となる胴体を作り、表情や腕の向き、模様などの装飾を自由に加えて形を作り上げた。仕上げの乾燥と焼成は、自宅か預かって行うかを選んでもらった。預かったものは乾燥中に少しヒビが入ったものもあったが、壊れることなく焼成できた。完成したものは、個性のある面白い作品になっていた。

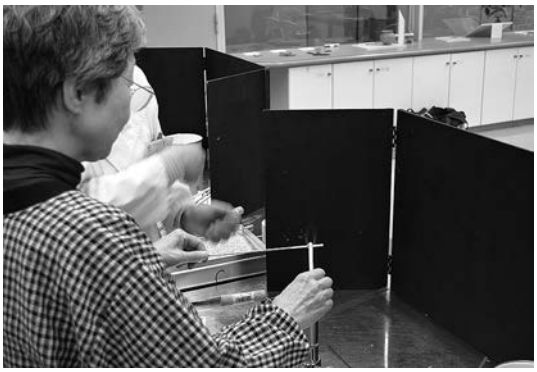
3　秋の考古学講座
～遺物からみた弥生の祭祀～

日　時　平成27年10月3日・10日・17日（土）
講　師　第１回　米田克彦（岡山県古代吉備文化財センター）
「勾玉から探る吉備の祭祀」
第２回　光本 順（岡山大学大学院社会文化科学研究科）
「分銅形土製品と吉備弥生社会」
第３回　柴田英樹（岡山県古代吉備文化財センター）
「吉備の青銅器とマツリ」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　象　一般
参加者　83人（延べ人数）

今回は、弥生時代の遺物の中でも話題性のある勾玉や銅鐸をテーマとした講座を実施した。

第1回は米田克彦氏による講演で、吉備における勾玉の流通からその背景を考察し、古墳への勾玉副葬にいたる吉備の役割を読み取るものであった。第2回は吉備特有の分銅形土製品について光本順氏にお話をいただいた。分銅形土製品の分析を通して、弥生時代の墳丘墓出現の意味、地域の統合を語るものであったが、聴講者からは内容が少し難しいとの声も聞かれた。第3回は柴田英樹氏による銅鐸を中心とした青銅器のお話である。銅鐸や青銅製武器の分布から弥生墳丘墓の分布につながる内容で、祭祀の違いから地域のまとまりを読み解くものであった。教科書的な話も含めながら、わかりやすく解説いただいた。

4　考古学体験講座
～とんぼ玉のアクセサリー②～



日　時　平成28年3月5日（土）
講　師　内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　14人

バーナーでガラス棒を溶かし、鉄芯に巻取り、流し模様と縞模様の2つの玉を各自制作した。出来上がった玉に、編んだカラフルな紐を通し、ネックレスとストラップに完成させた。この講座は平成23年から年に1回程度実施しており、毎回応募者が多い。形の良い丸い玉に制作することや、模様を入れる作業は難しいと言う声もあったが、少々歪んでいたり、模様が思い通りなっていなくても、二つとない作品だと満足しているようだった。

Ⅳ 調査事業報告

平成27年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	上東遺跡	上東	宅地造成工事	立　会	15.04.03	弥生土器片
2	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	15.04.24 15.04.30	遺物・遺構なし
3	上東遺跡	上東	浄化槽埋設工事	〃	15.05.09	土師質土器細片
4	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	15.05.12	遺物・遺構なし
5	玉島陶中地区	玉島陶	圃場整備事業	試　掘	15.05.13	須恵器片
6	矢部遺跡	矢部	浄化槽埋設工事	立　会	15.05.18	瓦片・弥生土器細片
7	大室遺跡	下津井５丁目	公園造成工事	〃	15.05.20	遺物・遺構なし
8	屋敷ノ内古墳	生坂	道路改良工事	全　面	15.05.26 ～ 15.06.04	古代土器片
9	上東遺跡	上東	水道管埋設工事	立　会	15.06.17	遺物・遺構なし
10	上東遺跡	上東	浄化槽埋設工事	〃	15.06.30	弥生土器細片
11	蓮池尻遺跡	真備町妹	浄化槽埋設工事	〃	15.07.01	遺物・遺構なし
12	湾戸遺跡	福田町福田	水道管埋設工事	〃	15.07.07	〃
13	正保堤	玉島勇崎	下水道管埋設工事	〃	15.07.10	〃
14	朝原寺跡	浅原	法面保護工事	〃	15.09.10 15.09.18	〃
15	福田貝塚	福田町福田	宅地造成工事	確　認	15.09.29 ～ 15.09.30	縄文土器片
16	石田遺跡	真備町尾崎	道路補修工事	立　会	15.10.01	遺物・遺構なし
17	朝原寺跡	浅原	法面保護工事	〃	15.10.02	〃
18	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	15.11.04	弥生土器細片
19	伊能軒遺跡	矢部	農業用池改修工事	立　会	15.11.20	遺物・遺構なし
20	中須賀北遺跡	真備町箭田	水路改修工事	〃	15.11.20 15.12.03	弥生土器・瓦片

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
21	中須賀北遺跡	真備町箭田	水道管埋設工事	立　会	15.11.25	遺物・遺構なし
22	鷲羽山遺跡	下津井田之浦	説明案内板 設置工事	〃	15.11.27 15.12.02	〃
23	戸地衛遺跡	真備町箭田	水路改修工事	〃	15.12.03	須恵器片・土師器片
24	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	15.12.08	遺物・遺構なし
25	岩倉遺跡	日畑	水路改修工事	〃	15.12.08	〃
26	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	15.12.08	〃
27	大室遺跡	下津井５丁目	水道管埋設工事	〃	15.12.22	〃
28	相引池遺跡	広江７丁目	下水道管埋設工事	〃	16.01.13	〃
29	上東遺跡	上東	水道管埋設工事	〃	16.01.19	〃
30	上東遺跡	上東	水道管埋設工事	〃	16.01.19	〃
31	鷲羽山遺跡	下津井田之浦	歌碑移設工事	〃	16.01.19	〃
32	尾崎東谷遺跡	真備町尾崎	道路改良工事	確　認	16.01.26	近世磁器片
33	五日市東貝塚	五日市	個人住宅建設工事	立　会	16.02.09	遺物・遺構なし
34	上東遺跡 平松城跡	下庄	水路改修工事	〃	16.02.12	〃
35	御堂奥遺跡	二子	簡易建物建設工事	〃	16.02.16	〃
36	岸本貝塚	玉島道口	道路側溝整備工事	〃	16.02.23	ハイガイ
37	塩生遺跡	児島塩生	下水道管埋設工事	〃	16.03.16	遺物・遺構なし
38	蓮池東遺跡	真備町妹	道路補修工事	〃	16.03.24	〃
39	王墓山 真宮３号墳	庄新町	個人住宅建設工事	〃	16.03.31	〃

調査地点位置図（S＝1/100,000）

玉島陶中地区（第２次）試掘調査報告（一覧表 No.5）

たましますえなかちく

調査位置　玉島陶地内
調査原因　圃場整備事業　　**調査面積**　8㎡
調査期間　15.05.13　　**調査担当**　小野・藤原

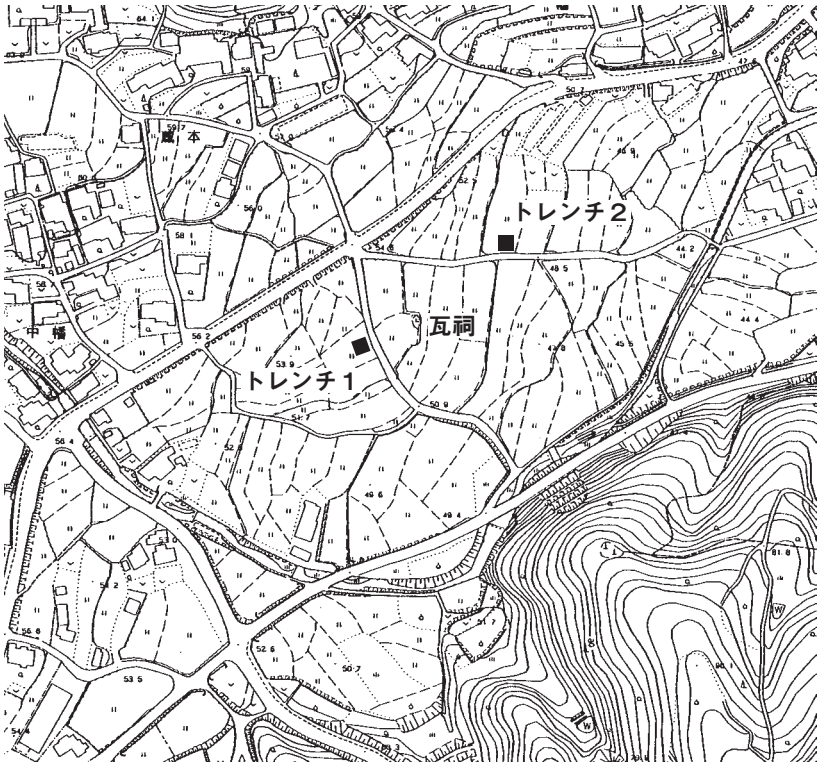
調査地の概要　玉島陶地区は、周囲を山に囲まれた盆地状の地形で、中央を北の弥高山から流れ出す真谷川が大きく湾曲しながら東流し、さらに北へ流れを変えて小田川に合流している。調査地はこの真谷川が形成する扇状地状の地形上に位置している。周囲の山腹には古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての窯跡が20基以上確認されており、玉島陶古窯跡群と呼ばれている。

調査の概要　本調査は玉島陶中地区における圃場整備事業に伴い、平成26年度の第１次調査に続いて実施したものである。調査は、事業範囲の南部を対象としたものであるが、第１次調査の結果を受けて範囲を絞り込み、２×２ｍのトレンチ２か所を設定して実施した。

トレンチ１は、踏査時に須恵器や古代の瓦片が散布することが確認された瓦祠を祀った地点に道を挟んで隣接する水田に設定した。標高53ｍ程で、地形的には真谷川が形成した扇状地が南に張り出した高まりの上でもある。地表下約20㎝までは現行の水田耕作土で、その下は灰色砂質土が堆積し、これら２層には須恵器片等が含まれている。さらに下はオリーブ黄色砂質土、灰オリーブ色砂質土と続くが、遺物・遺構などは確認されなかった。また、灰オリーブ色砂質土には拳大から人頭大の礫が多く含まれており、上面は東に向かって下がっていくようである。

トレンチ２は、トレンチ１から北東へ100ｍ程の水田に設定した。周囲は幅広の谷筋で、標高約49.6ｍ、東に向かって下がっていく地形である。地表下約15～18㎝までは現行の水田耕作土で、その下は浅黄色砂質土､灰色砂質土、灰オリーブ色砂質土と続く。浅黄色砂質土以下の３層は10～20㎝大の礫を多く含む層であり、いずれの層からも遺物・遺構は確認されなかった。

今回の調査では、トレンチ１から少量の須恵器片が出土したが、これらはより上方から流されてきたものと考えられる。なお、瓦祠周辺に散布する須恵器や古代の瓦片については、耕作の邪魔にならないよう周囲の水田や畑から一か所に集積されたものと考えられる。（藤原）



トレンチ位置図（Ｓ=1/5,000）

屋敷ノ内古墳発掘調査報告（一覧表 No.8）

調査位置　生坂2196番地
調査原因　道路改良工事　　**調査面積**　20㎡
調査期間　15.05.26～15.06.04　　**調査担当**　小野・藤原

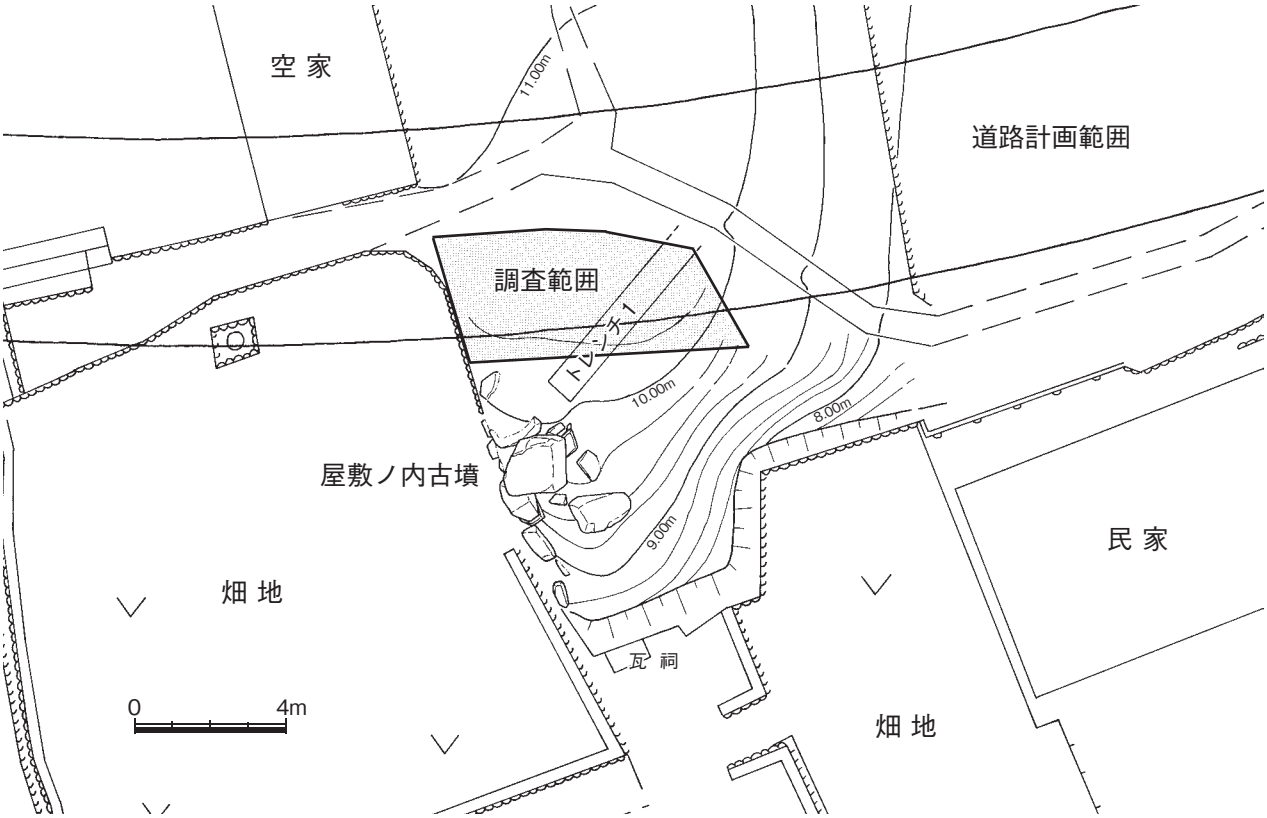
遺跡の概要　屋敷ノ内古墳は、山陽自動車道倉敷インターチェンジの東北方に位置する標高20m程の小丘陵南斜面に立地している。道路改良計画を受けて、平成22年度に確認調査を実施した結果、長さ４m 以上、幅1.4～1.6mの規模の横穴式石室墳であると推定された。また、確実な墳丘盛土および地山は確認できず、石室の大部分が現在より露出していた時期があったのではないかと考えられた。

屋敷ノ内古墳の立地する小丘陵には他に遺跡の存在は確認されていないが、周辺の生坂・西坂地区には比較的多くの遺跡が残されている。倉敷インターチェンジ建設に伴って調査された菅生小学校裏山遺跡からは大陸とのつながりを示す陶質土器が出土し、原津という港を暗示させる字も存在する。北へ800mほどいった生坂ハイツの団地内には、かつては10基以上の後期古墳が存在したとされ、現在でも2基が保存されている。また、国道429号線を挟んだ西方の山裾には、漆喰を使用した横穴式石室を備える終末期古墳である笹池東1号墳も存在している。こうした遺跡の豊富さは、北へ水別峠を越えるとすぐに総社市となり、こうもり塚古墳・国分寺等が所在する吉備中枢部に至ることができるという地の利と無関係ではないであろう。

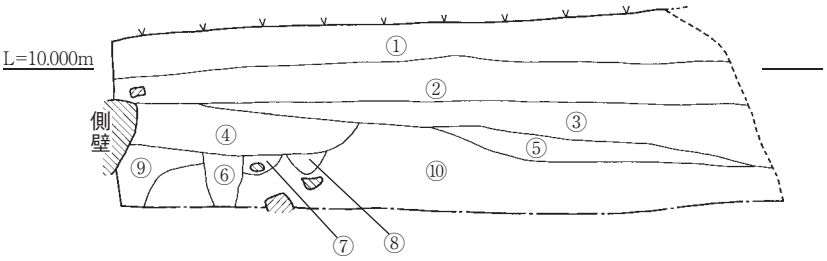
調査の概要　当初の工事計画では、道路面と同じ高さまで古墳全体を削平する予定であったが、計画変更により、石室本体の現状保存が可能となったため、調査は奥壁より北側の道路に係る部分についてのみ行うこととなった。

調査はまず、確認調査で明確にできなかった墳丘および古墳背後の周溝を確認するため、石室に対して北東方向に設定したトレンチ1と、奥壁背後の新しい石積みを除去した調査区西壁の、土層断面を観察することから始めた。その結果、トレンチ1では竹の根の深く入った表土層（①層）の下に近世以降の遺物を含む層（②・③層）

古墳位置図（S=1/5,000）

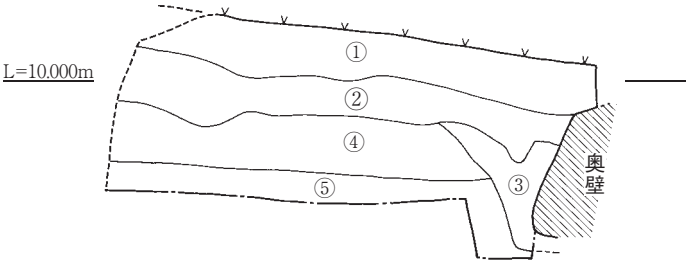


調査地平面図　S＝1：200



① 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）腐植土
② 黄褐色砂質土（2.5Y5/3）
③ オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）
④ 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）
⑤ 黒褐色砂質土（2.5Y3/1）
⑥ 黄灰色砂質土（2.5Y4/1）
⑦ 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）
⑧ 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）
⑨ にぶい黄色砂質土（2.5Y6/3）
⑩ 灰黄褐色砂質土（10YR6/2）

トレンチ１北壁断面図（S=1 /50）



① 黒褐色砂質土（10YR3/1）腐植土
② 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
③ 暗灰黄色砂質土（2.5Y5/2）
④ にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3）
⑤ 明黄褐色砂質土（10YR6/6）地山

調査区西壁断面図（S=1 /50）

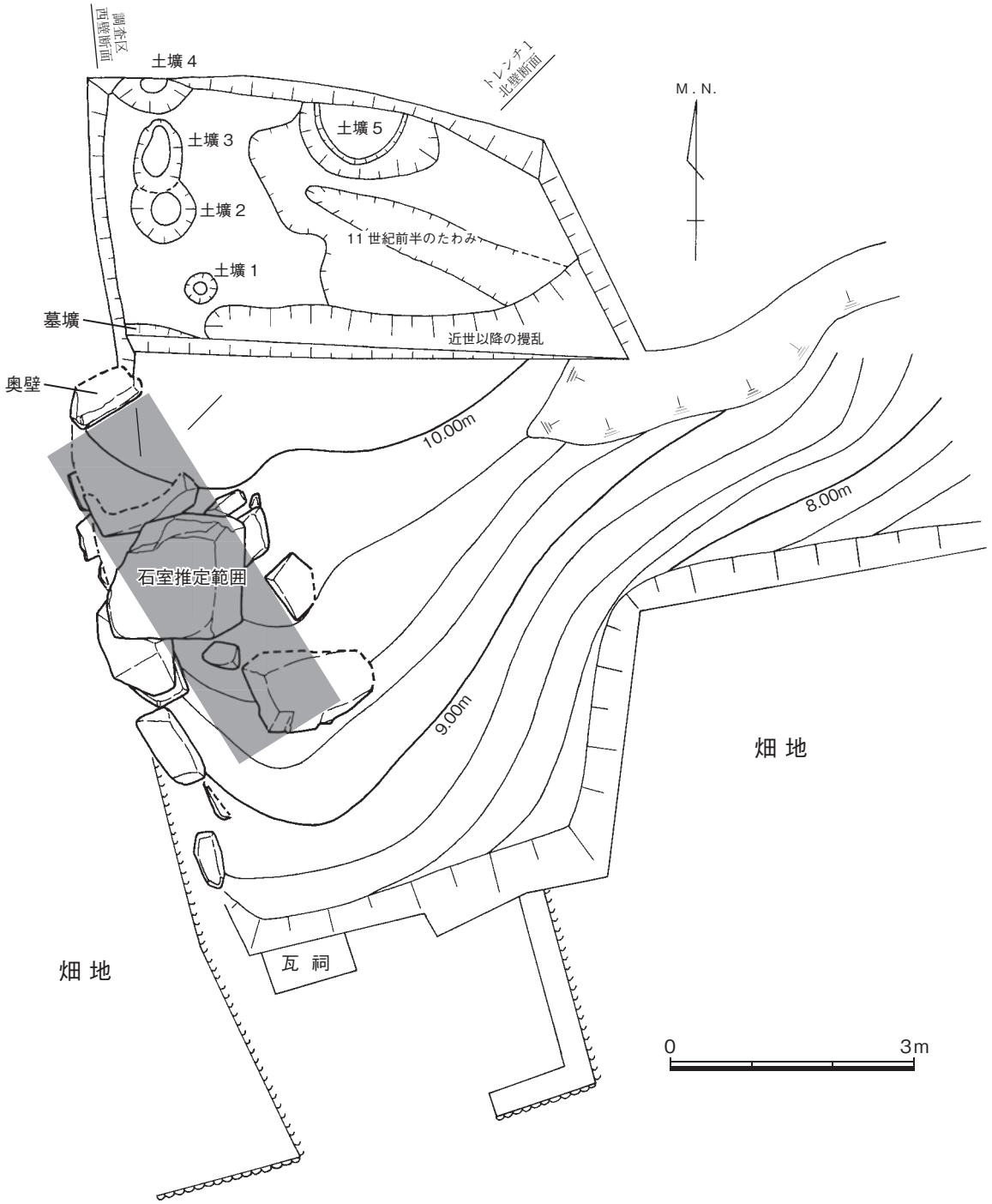
が厚く堆積し、その下は11世紀前半代の遺物を含むレンズ状の層（⑤層）を挟んで、弥生時代の遺物を含む締まりの強い層（⑩層）が確認された。③層下から⑩層を切り込んでいる④層からは近世の土器片などが確認されている。また、やはり⑩層を切り込む形で検出された⑨層は締まりが強く、側壁の石材に接していることから、石室構築の為の墓壙埋土と考えられる。

調査区西壁（奥壁背後）の土層断面も基本的には同様であるが、ここでは11世紀前半代の遺物を含む層は確認されなかった。腐植土層（①層）の下には、近世以降の遺物を含む層（②層）が堆積し、その下には締まりの

強い砂質土層（④層）、かたく締まった地山と考えられる層（⑤層）の順に堆積していた。④層はトレンチ1の⑩層に該当しており、やはり石室構築の為の墓壙（③層）が掘り込まれていることが確認された。

以上のように土層観察では、石室の墓壙の他には盛土や周溝などの古墳に伴うと考えられる遺構は確認できなかったため、古墳築造以後の土層を除去しながら、面的な調査を実施した。その結果、調査範囲内においてたわみ1か所、土壙5基を検出した。

たわみは、調査区の中央から東に向かって浅く緩やかに降っており、堆積土（トレンチ1⑤層に該当）

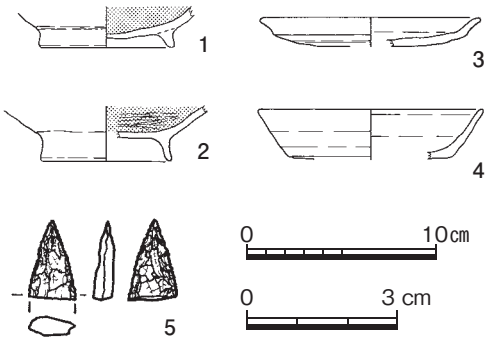


遺構配置図　S＝1：80

には土師質土器片（内面黒色土器椀）や鉄滓が含まれていた。このうち鉄滓については重量138.3gを計り、たわみの底に張り付くような状態で検出された。

調査区の西側に南北に並ぶ土壙4基について、その性格は不明であるが、出土遺物から近現代のものであると考えられる。土壙1が直径40㎝とやや小さく、土壙2・3は径80～90㎝程である。土壙2は内側に粘土が張ってあり、水を貯めるために使用されていた可能性がある。土壙5は長径約1.8mの不整円形の墓壙の中に直径約1.1mの円形の痕跡があり、近世以降の土葬墓の可能性がある。また、調査区の南側には近世以降の大きな攪乱（トレンチ1④層）が入っており、この攪乱は南に向かって大きく下がっているようである。

出土遺物　調査で出土した主な遺物としては、たわみの堆積土に含まれた土器があげられる。内面黒色土器椀は5個体以上が検出されているが、すべて小片であり全体の形が分かるものはない。**1**・**2**は黒色土器椀の底部で、ともに内面にヘラミガキが施されている。**3**は土師質の皿で、直径11.6㎝、器高1.5㎝、底部にはヘラ切りの痕跡が残っている。**4**は土師質の坏で、直径11.8㎝、器高2.6㎝を測る。これらの土器は11世紀前半に属するものと考えられる。



出土遺物（S=1/4・2/3）

その他に弥生時代の遺物もトレンチ1⑩層を中心に少量が検出されているが、土器片で図化できるものはなかった。**5**は弥生時代の石鏃で、残存長1.57㎝、幅0.98㎝、厚さ0.42㎝、重さ0.6gである。先端部のみの欠損品であるが、先端の角度と厚みから有茎鏃と推定される。

トレンチ1北壁

完掘状況（北から）

まとめ　今回の発掘調査は、限定的ながら石室奥壁に接する範囲を調査しており、墳丘盛土や周溝の検出を想定していたが、結果として墳丘は確認できず、周溝についても確実なものは検出されなかった。トレンチ1における土層断面の状況や石室との位置関係から、たわみが周溝の痕跡を反映している可能性も考えられるが、出土する土器が平安時代のものであることや、残存範囲が限定されることから、現段階ではその可能性を指摘するに留めたい。

また、近世以降の改変によって墳丘が取り去られ、石室が大きく露出していた時期があったものと考えられる。なお、調査終了後、最も大きな天井石1枚は危険防止のために撤去されたことを付け加えておく。（藤原）

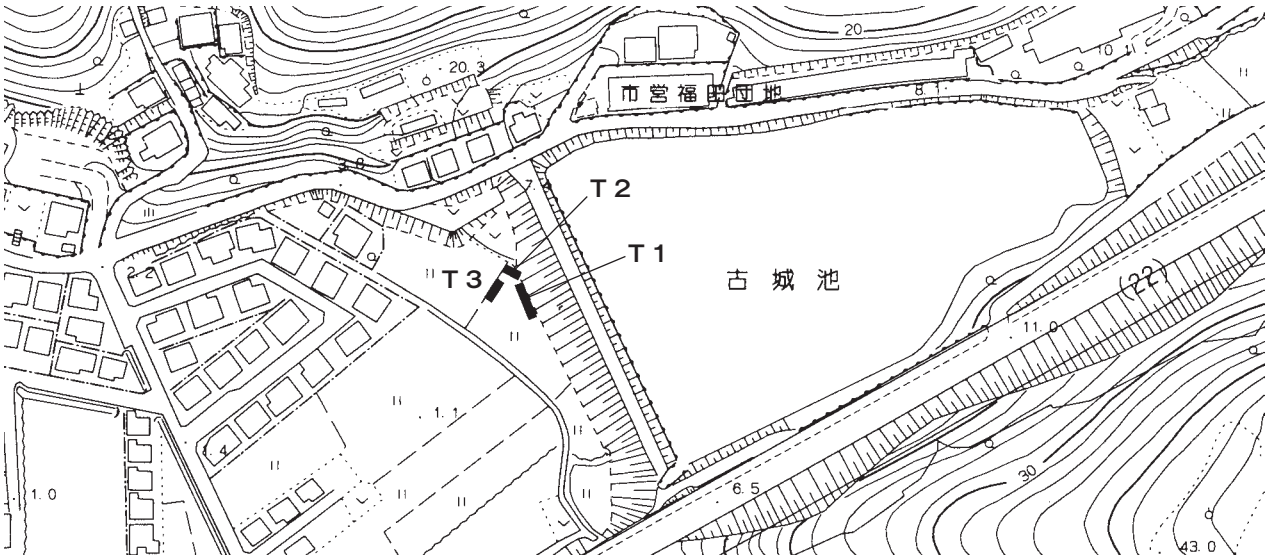
福田（ふくだ）貝塚確認調査報告（一覧表 No.15）

調査位置　福田町福田字古城2198番外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　10㎡
調査期間　15.09.29～15.09.30　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　福田貝塚は、かつて瀬戸内海に浮かぶ島であった児島の北部西岸に位置する。水島灘を臨む谷口に形成された砂州の上に立地する縄文貝塚である。現在この部分を堰き止めてつくられた古城池があり、貝塚の一部は池の堤防の下に埋まっている。1950、51年に堤防北端の西斜面の畑地において発掘調査が行われ、縄文土器、石器、動物遺体などの遺物を伴う貝層が検出された。なお、貝塚の中心部分は倉敷市の史跡に指定されている。

調査の概要　開発予定地のうち、貝塚に近接した場所に幅約0.8ｍのトレンチを3か所設定し、土層断面の観察を中心に調査を実施した。調査地の現況は休耕田で、1950、51年の発掘調査地より数十㎝から1ｍ程度低い標高1.7～1.8ｍの位置にある。長さ8ｍのトレンチ1の層序は、水田耕作土（厚さ16㎝）、床土（8㎝）、灰色粗砂（40㎝以上）で、トレンチの北端では灰色粗砂層の間に入り込む褐色粗砂（6㎝以下）が認められた。耕作土から縄文土器、須恵器、製塩土器などの土器、サヌカイト、貝殻、現代の遺物が出土したが、いずれも小片である。長さ2ｍのトレンチ2の層序は、水田耕作土（厚さ20㎝）、明黄褐色粘質土（3～14㎝）、灰色粗砂（28㎝）、灰オリーブ色粗砂（20㎝以上）である。水田耕作土、明黄褐色粘質土から縄文土器、須恵器などの土器、サヌカイト、貝殻、現代の遺物が出土した。また、灰オリーブ色粗砂の上層から羽島下層式の小片が1点出土した。長さ3ｍのトレンチ3の層序は、水田耕作土（厚さ18㎝）、床土（6㎝）、灰色粗砂（25㎝以上）である。水田耕作土から縄文土器、製塩土器、現代の遺物が出土した。

以上のように、縄文貝層に由来する遺物は、耕作土やその直下から少量出土したに過ぎず、遺跡は当該開発予定地にまで及んでいないと考えられる。また、砂層から縄文前期の羽島下層式土器が出土したが、ローリングを受けた小片で、他の場所からの流れ込みと思われる。（小野）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

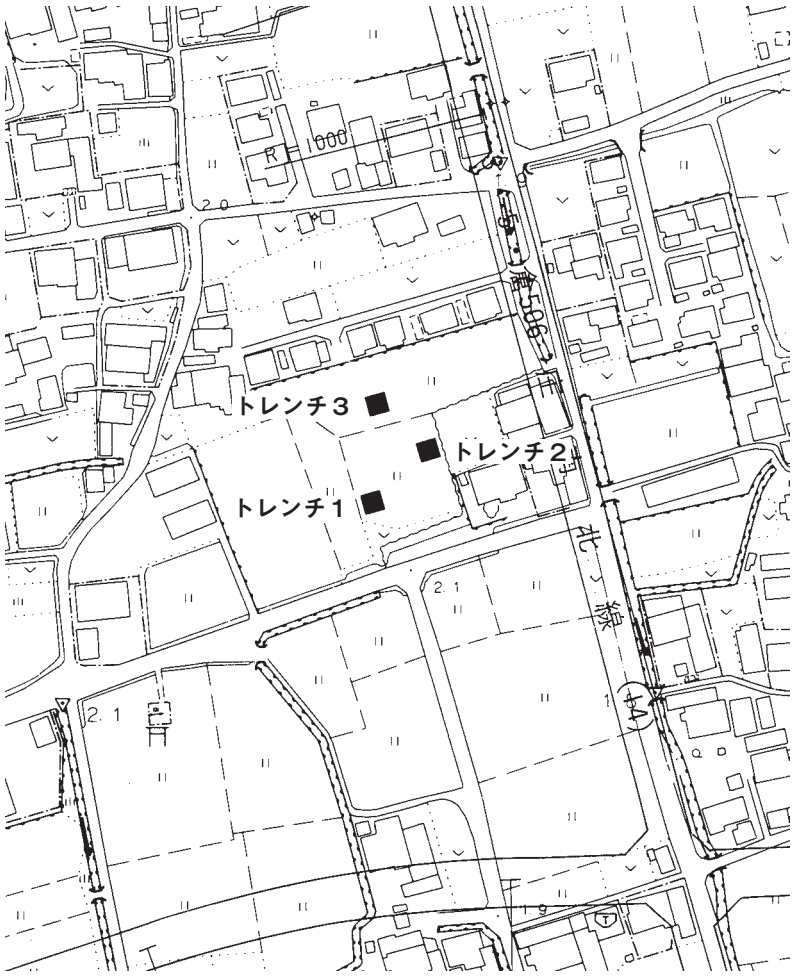
上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.18）

調査位置　上東字一本木668番外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　12㎡
調査期間　15.11.04　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は、足守川河口域に形成された沖積平野に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、中世までの遺構、遺物が確認されている。調査対象地は倉敷市役所庄支所の北約400mの場所で、新興住宅地の間にある水田である。周辺地区の調査歴については、南接する市道の建設に伴う確認調査（1988年）、北隣および西隣の地区における分譲住宅地造成工事に伴う確認調査（1992年・2008年）を実施している。今回の調査地を取り囲むこれらの地区では、微高地の存在をうかがわせる安定した粘質土層が認められるが、明瞭な遺構や遺物包含層は確認されていない。

調査の概要　開発予定区域に2×2mのトレンチを3か所設定し、土層断面の観察を中心にして調査を実施した。現地表面の標高は1.5～1.6mである。トレンチ1の層序は、水田耕作土、灰色土、にぶい黄橙色土、灰色粘質土（上面の標高約1.0m）で、各層には弥生時代から中世の土器片が含まれる。灰色粘質土からは備前焼の小片が出土した。トレンチ2では、水田耕作土の下に造成土をはさんで旧耕作土がみられ、水田の地上げが認められる。旧耕作土の下には、よくしまった灰色粘質土（上面の標高1.2m）、黄褐色粘質土（上面の標高1.0m）があり、弥生時代の基盤層と考えられる。遺構は確認されず、各層から遺物は出土していない。トレンチ3の層序は、水田耕作土、灰オリーブ粘質土、にぶい色粘質土、黄褐色粘質土（上面の標高1.2m）、灰色粘質土、灰色細砂である。黄褐色粘質土はよくしまっており、弥生時代の基盤層と考えられる。灰オリーブ粘質土に土器の細片が含まれているが、他の層から遺物は出土していない。

以上のように、今回の調査では明確な遺構、遺物包含層は確認されなかった。しかし、トレンチ2、トレンチ3において弥生時代の基盤層と同質の粘質土層が存在することから、当該地は、微高地の縁辺部にあたると考えられる。（小野）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

尾崎東谷遺跡確認調査報告（一覧表 No.32）

おさきひがしだに

調査位置	真備町尾崎地内		
調査原因	道路改良工事	調査面積	2㎡
調査期間	16.01.26	調査担当	小野・藤原

遺跡の概要　真備町尾崎地区は西から東に向かって流れる小田川の北岸に位置し、黒宮大塚弥生墳丘墓や瀬戸2号墳（前方後円墳）など多くの遺跡が所在している。また、遺跡と小田川の間には東西に山陽道が通っている。遺跡は南に向かって開く谷を塞いで築かれた東谷池の東側、北から延びる丘陵裾に立地しており、谷奥に所在する蓮花寺に至る道沿いでもある。中世土器片が散布するとされ、事前の踏査においても、少量の土器片が採取された。

調査の概要　調査地は標高36ｍほどの畑地であり、拡幅予定の道路面より2ｍほど高くなっている。調査は道路改良によって削平される部分に2×1ｍのトレンチを1か所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチは削平予定地内のほぼ中央に設定した。厚さ25㎝程の耕作土の下には、ややしまりの強い灰色粘質土が約5㎝の厚さで確認され、その下には灰褐色砂質土、にぶい黄橙色砂質土、灰黄褐色砂質土の順に堆積していた。灰褐色砂質土、にぶい黄橙色砂質土、灰黄褐色砂質土はいずれもしまりの弱い砂質の強い層で、自然堆積層と考えられる。灰褐色砂質土、灰黄褐色砂質土は山土が堆積したと考えられる均質な層であるのに対し、にぶい黄橙色砂質土は砂質が強い上に、灰白色粘質土を層状に含んでいることから、水成堆積層の可能性が高いと考えられる。遺物としては灰褐色砂質土から布目瓦片や近世磁器片、灰黄褐色砂質土から土師質土器片、近世磁器片が少量出土した。いずれも小片であり、これらはより上方から流されてきたものであると考えられる。なお、遺構は確認されなかった。

調査地は丘陵裾部を水平にならして成形された畑地と考えられる。しかし、造成土は確認されず、厚い自然堆積層が認められたことから、畑地成形は主に削平によって行われたと推定される。また、近世の磁器片が深い層からも出土していることから、堆積層の形成時期は近世以降であると考えられる。（藤原）

トレンチ位置図（S=1/5,000）

Ⅴ 寄贈図書一覧（2015.4.1～2016.3.31）

宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市内の遺跡 1、多賀城市内の遺跡 2- 平成 26 年度発掘調査報告書 -、新田・山王遺跡、八幡沖遺跡第 9 次調査、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成 25 年度 -、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成 26 年度 -
秋田県	
秋田県埋蔵文化財センター	払田柵跡 - 巨大城柵の実像に迫る -、蝦夷と俘囚 - 古代の秋田人 -、貝保遺跡（第 2 次）、小勝田館跡、遺跡詳細分布調査報告書
山形県	
（公財）山形県埋蔵文化財センター	埋文やまがた第 55 号・第 56 号
東北芸術工科大学考古学研究室	日向洞窟遺跡の発掘記録
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	歴史遺産研究 No.9/2014、高畠町の鳥居
茨城県	
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要 第 24 号・第 25 号
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	上高津貝塚のころ - 縄文後晩期 円熟の技と美 -
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第 26 号
埼玉県	
富士見市教育委員会	市内遺跡発掘調査Ⅶ、市内遺跡発掘調査Ⅷ
富士見市遺跡調査会	東前遺跡第 16 地点発掘調査報告書、氷川前遺跡第 57 地点発掘調査報告書、正網南遺跡第 5 地点発掘調査報告書、東台遺跡第 37 地点発掘調査報告書、北通遺跡第 69 地点発掘調査報告書
千葉県	
（公財）千葉市教育振興財団	千葉市宮野木原第 2 遺跡、千葉市川戸・柳沢遺跡、千葉市向ノ台遺跡Ⅱ、千葉市米之内遺跡、千葉市へたの台貝塚
千葉市教育委員会	埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成 25 年度 -、埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成 27 年度 -
国立歴史民俗博物館	亀ヶ岡遺跡・是川遺跡 縄文時代遺物、国立歴史民俗博物館研究報告 第 191 集・第 194 集～第 200 集
東京都	
宮内庁書陵部	書陵部紀要第 66 号、書陵部紀要第 66 号（陵墓篇）
早稲田大学考古学会	古代第 137 号・第 138 号
明治大学博物館	明治大学博物館年報 2014 年度
明治大学校地内遺跡調査団	下原・富士見町遺跡Ⅲ
青山学院大学文学部史学科研究室	青山史学 第三十四号
首都大学東京 考古学研究室	人類誌情報 2015-4
神奈川県	
横須賀市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査概報集ＸＸⅠ
富山県	
小矢部市教育委員会	桜町遺跡発掘調査報告書
石川県	
能登町教育委員会	能登町の文化財
福井県	
福井市文化財保護センター	高柳遺跡Ⅱ、石盛遺跡、石盛遺跡Ⅱ、平成 25 年度 年報、高柳遺跡発掘調査報告書、福井城跡ＸⅨ
長野県	
長野市埋蔵文化財センター	長野市埋蔵文化財センター所報 No.25･No.26、浅川扇状地遺跡群 押鐘遺跡（2）、裾花川扇状地遺跡群 御所遺跡（2）、浅川扇状地遺跡群 平林東沖遺跡（2）、浅川扇状地遺跡群 徳間本堂原遺跡（2）、松原遺跡（6）、浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡（7）三輪遺跡（8）

（一財）長野県文化振興事業団	長野県埋蔵文化財センター年報 31・32、西近津遺跡群、新城峰遺跡、南大原遺跡、琵琶島遺跡 壁田遺跡 ねごや遺跡
松本市教育委員会	新井遺跡 - 第 2 次発掘調査報告書 -、出川西遺跡 - 第 10 次発掘調査報告書 -、岩岡館跡 - 発掘調査報告書 -、松本城大手門枡形跡 - 発掘調査報告書 -
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.83 ～ vol.86、樹木と人の交渉史
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	轍
各務原市教育委員会	各務原市の文化財、各務原の遺跡探訪、各務原ヒストリー
静岡県	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.9・Vol.10
湖西市教育委員会	市内遺跡発掘調査報告書 - 平成 23・24 年度 -
静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報 20 - 平成 24・25 年度 -
愛知県	
名古屋市教育委員会	埋蔵文化財調査報告書 71・72、天白元屋敷遺跡 平成 25 年度発掘調査報告書、見晴台遺跡 第 44・45・46・47・48 次発掘調査の記録、東二葉町遺跡第 5 次発掘調査報告書、名古屋市 H-G108 号窯埋蔵文化財発掘調査報告書
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第 34 号
豊田市郷土資料館	i こまい つかってみりんマップ、東広瀬経塚、寺部遺跡Ⅴ、亀首遺跡工事立会埋蔵文化財調査報告書、栃原遺跡Ⅱ、高橋遺跡中央区・南西区、平成 25 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書、豊田市郷土資料館だより No.92 ～ No.94
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集 182
三重県	
松阪市文化財センター	平成 25 年度年報
滋賀県	
守山市立埋蔵文化財センター	下之郷遺跡確認調査報告書Ⅸ、守山市文化財調査報告書、下之郷遺跡第 93 次・酒寺遺跡発掘調査報告書
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 26 集・第 27 集、雪野山古墳 - 過去・現在・未来 - を語るシンポジウム
（公財）滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.24 ～ Vol.27
（公財）栗東市体育協会	はっくつ 2014- 栗東市話題の発掘調査 -、古代銭貨、栗東市埋蔵文化財調査報告 2013（平成 25）年度年報、綣遺跡発掘調査報告書 平成 23 年度 2 次調査、蜂屋遺跡 平成 23 年度 1 次調査、下鈎遺跡発掘調査報告書 平成 24 年度 1 次調査、下鈎東・手原遺跡 平成 24 年度 2 次調査、下鈎遺跡発掘調査報告書 平成 24 年度 3 次調査、十里遺跡 平成 25 年度 1 次調査、下鈎東遺跡 平成 25 年度 1 次調査、下鈎東遺跡 平成 26 年度 1 次調査、下鈎東遺跡 平成 26 年度 3 次調査、下鈎東遺跡 平成 26 年度 5 次調査、下鈎東遺跡 平成 26 年度 4 次調査、小野遺跡 平成 26 年度 1 次調査、坊袋遺跡 平成 24 年度 1 次調査、小野遺跡 平成 23 年度 1 次調査
滋賀県教育委員会	大石城遺跡、下川原遺跡 2、臨済庵遺跡、沢尻遺跡、横山城遺跡・朝日遺跡、岡遺跡、太子遺跡、島遺跡 、吉身西遺跡、下羽田遺跡、上御殿遺跡、金森西遺跡、関津城遺跡
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成 24（2012）年度 -、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成 25（2013）年度 -、近江国府跡関連遺跡発掘調査報告書Ⅶ - 中路遺跡 -、埋蔵文化財発掘調査集報Ⅵ、石山国分遺跡発掘調査報告書、堂ノ上遺跡発掘調査報告書、穴太遺跡（南菊ノ尾地区）発掘調査報告書、南滋賀遺跡発掘調査報告書Ⅵ、穴太飼込古墳群・穴太遺跡発掘調査報告書、青江遺跡発掘調査報告書、滋賀里遺跡発掘調査報告書Ⅳ、中畑田遺跡発掘調査報告書Ⅱ、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成 26（2014）年度 -、真野廃寺発掘調査報告書Ⅰ、穴太遺跡（隅田地区）発掘調査報告書、穴太遺跡（下飴屋地区）発掘調査報告書、曼荼羅山古墳群発掘調査報告書、近江国府跡発掘調査報告書

米原市教育委員会	佐加太第 42 号
野洲市教育委員会	平成 27 年度野洲市内遺跡発掘調査年報
高島市教育委員会	高島市内遺跡調査報告書 - 平成 26 年度 -、「古代近江の鐵生産 - 敬体大王から藤原仲麻呂の時代 -」記録集
竜王町教育委員会	竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成 24,25 年度
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第 92 号～第 95 号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化 39 号・40 号
京都府	
（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第 127 号～第 129 号
（公財）向日市埋蔵文化財センター	年報 都城 25 ～ 27、桓武天皇の王宮 - 長岡宮の実像 -、まいぶん fan Vol.6・Vol.7
京都府教育庁	京都府埋蔵文化財調査報告書（平成 26 年度）、乙訓古墳群調査報告書
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成 26 年度、京都市内遺跡試掘調査報告 平成 26 年度、京都市内遺跡発掘調査報告 平成 26 年度
与謝野町教育委員会	丹後国遷政、平成 24・25 年度国庫補助事業発掘調査報告書、平成 26 年度国庫補助事業発掘調査報告書、京都府与謝野町遺跡地図
南丹市立文化博物館	工芸ってなあに？、南丹市立文化博物館だより第 11 号、学校のあゆみ 園部地区編、戦争と南丹市、園部藩関係史料 寺社類集 翻刻編
（公財）京都市埋蔵文化財研究所	平安京右京北辺三坊六町跡、史跡・名勝 嵐山、常盤東ノ町古墳群、長岡京左京二条四坊五・十二町跡、白河街区跡・法勝寺跡・岡崎遺跡、史跡・名勝 嵐山、伏見城跡、平安京左京九条二坊十六町跡・御土居跡、平安京九条三坊十町跡・烏丸町遺跡、史跡妙心寺境内・平安京跡、長岡京右京北辺四坊八町跡・上里北ノ町遺跡・堂ノ上古墳、平安京右京四条二坊十一町・西堀川小路跡・御土居跡、伏見城跡・桃陵遺跡、平安京右京六条二坊一町、上京遺跡
京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集 第 13 号、大英博物館ゴーランド・コレクションの調査から、京都橘大学 歴史遺産調査報告 2014、ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代像・研究史の再構築
大阪府	
高槻市立埋蔵文化財調査センター	たかつき文化財地図、嶋上遺跡群 39、高槻市文化財年報 平成 25 年度
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸＸⅡ
堺市教育委員会	巨大古墳あらわる～履中天皇陵古墳を考える～、長山古墳（NGYK-1）発掘調査概要報告 - 堺区協和町 1 丁所在 -、堺環濠都市遺跡（SKT1087）発掘調査概要報告 - 堺区櫛屋町東 3 丁所在 -、平成 25・26 年度市内遺跡立会調査概要報告、堺環濠都市遺跡（SKT1117）発掘調査概要報告 - 堺区戎之町東 1 丁所在 -、平成 26 年度国庫補助事業発掘調査報告書、百舌鳥古墳群の調査 8
（公財）八尾市文化財調査研究会	平成 26 年度（公財）八尾市文化財調査研究会事業報告、木の本遺跡・東郷遺跡・八尾南遺跡、大竹遺跡・萱振寺内町・郡川遺跡・小阪合遺跡・田井中遺跡 ほか、太田遺跡・太田川遺跡・恩智遺跡 ほか
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成 27 年度（2015 年度）-、文化財ニュース豊中 No.38、曽根遺跡、豊島北遺跡
枚方市教育委員会	特別史跡百済寺跡、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2014
羽曳野市教育委員会	古市遺跡群ＸＸＸⅥ、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成 23 年度 -
富田林市教育委員会	喜志遺跡Ⅳ、平成 26 年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書
泉佐野市教育委員会	平成 26 年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要、三軒屋遺跡 13-2 区の調査、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第 76 号～第 78 号
交野市教育委員会	平成 26 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報　2014 年度
吹田市教育委員会	平成 26（2014）年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概報、垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅱ、佐井寺護摩堂および鐘楼 建築調査報告書
四條畷市教育委員会	四條畷市文化財調査年報第 2 号
大阪府立弥生文化博物館	弥生文化博物館要覧 - 平成 25 年度 -

大阪府立近つ飛鳥博物館	古代出雲とヤマト王権 - 神話の国の考古学 -、博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.42・vol.43、館報 18、発掘された馬と渡来人、ワカタケル大王の時代 - ヤマト王権の成熟と革新 -、歴史発掘おおさか 2015
吹田市立博物館	館報 15、生誕 100 年西村公朝展 ほとけの姿を求めて、博物館だより No.62 ～ No.64、絵図っておもしろい - 国絵図と村絵図 -
大阪府立狭山池博物館	近世狭山池絵図
大阪歴史博物館	なにわ歴博カレンダー No.56、大阪歴史博物館年報 平成 26 年度
大阪大学考古学研究室	西山 1 号窯
大阪大谷大学	歴史文化研究第 15 号、志学台考古第 15 号
兵庫県	
姫路市埋蔵文化財センター	竹の前遺跡・畑田遺跡発掘調査報告書、豊沢遺跡第 7 次発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第 318 次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第 322 次発掘調査報告書 -、竹の前遺跡発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第 325 次発掘調査報告書、坂本城跡第 19 次発掘調査報告書、姫路城城下町跡 姫路城跡第 330 次発掘調査報告書、TSBOHORI
たつの市埋蔵文化財センター	大戦の記憶 - 写真ニュースにみるアジア太平洋戦争 -
神戸市教育委員会	装いの考古学 - おしゃれと権力 -、たるみの遺跡、昭和のくらし・昔のくらし 9、大地に刻まれた災害史、大開遺跡、大橋町東遺跡第 1 次～第 6 次発掘調査報告書、平成 24 年度 神戸市埋蔵文化財年報
伊丹市教育委員会	有岡城跡発掘調査報告書ⅩⅨ
芦屋市教育委員会	阪神・淡路大震災復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成 7 年度分）、旭塚古墳 城山古墳群発掘調査報告書、寺田遺跡第 213 地点発掘調査報告書、月若遺跡第 96 地点出土小銅鐸調査・分析報告書、奥山刻印群第 112 地点調査報告書、平成 22 年度芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、芦屋廃寺遺跡（第 115 地点）発掘調査概要報告書、月若遺跡発掘調査報告書 第 98・100 地点、平成 26 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、平成 24・25 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、平成 8 年度国庫補助事業（3）芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、寺田遺跡（第 223 地点）発掘調査概要報告書、八十塚古墳群第 145 地点発掘調査報告書、芦屋廃寺遺跡（第 122 地点）発掘調査概要報告書
加西市教育委員会	加西市祭屋台ガイドブック、野上町のむかしと今、池田遺跡
赤穂市教育委員会	有年考古 第 2 号、有年原・クルミ遺跡 有年牟礼・井田遺跡発掘調査報告書、有年牟礼・山田遺跡発掘調査報告書
尼崎市教育委員会	尼崎市内遺跡 発掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成 21 年度（2）
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.25
川西市教育委員会	平成 25 年度川西市発掘調査報告
上郡町教育委員会	上郡の文化財、史跡 山陽道野磨駅家跡の謎に迫る！シンポジウム記録集
太子町教育委員会	平成 26 年度埋蔵文化財調査年報
福崎町教育委員会	東広畑古墳Ⅰ
佐用町教育委員会	昭和 60 年度埋蔵文化財調査年報、平成 24 年度埋蔵文化財調査年報、平成 25 年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	清水・タカアゼ遺跡
神戸市立博物館	研究紀要第 31 号
赤穂市立歴史博物館	源氏流いけばな
兵庫県立考古博物館	久保ノ向遺跡、丁・柳ヶ瀬遺跡Ⅲ、重近・北山遺跡、平田遺跡、清間遺跡・三木田池遺跡、宇野構遺跡、田井 A 遺跡、九蔵遺跡、池田古墳、兵庫県立考古博物館ＮＥＷＳ vol.16・vol.17
（公財）兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第 92 号・第 93 号
播磨町郷土資料館	播磨町郷土資料館 館報 26
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第 10 号

奈良県	
桜井市立埋蔵文化財センター	平成 25 年度国庫補助による発掘調査報告書、纒向遺跡発掘調査報告書 3、茅原大墓古墳、50 ㎝下の桜井、「纒向」その後 - 大規模集落衰退後の纒向遺跡 -、城島遺跡第 43 次発掘調査報告書、かわいい動物たち - 桜井市内出土遺物から -
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.157・No.159 ～ No.161
宇陀市教育委員会	宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2013 年度
田原本町教育委員会	たわらもと 2015 発掘速報展、田原本町文化財調査年報 23、弥生遺産Ⅲ～唐古・鍵遺跡の石器～
斑鳩町教育委員会	斑鳩 藤ノ木古墳の装身具展、斑鳩文化財センター年報 第 4 号（平成 25 年度）、斑鳩町内遺跡発掘調査概報 平成 10（1998）年度
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告ⅩⅦ
桜井市纒向学研究センター	纒向学研究センター年報 第 2 号（平成 25 年度）、纒向考古学通信 Vol.7、纒向学研究第 3 号
（公財）元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所研究報告 2014
奈良大学文学部考古学研究室	斑鳩大塚古墳発掘調査報告書Ⅰ
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第三十三集 西山要一先生退職記念論集
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第 28 号
天理大学考古学・民俗学研究室	古事 第 19 冊
和歌山県	
（公財）和歌山県文化財センター	かつらぎ町 中飯降遺跡、公益財団法人和歌山県文化財センター年報 2014、立野遺跡、出塔の水道、神前遺跡、立野遺跡、井辺遺跡、神前遺跡、目座遺跡、八丁田圃遺跡、塗屋城跡、大古Ⅱ遺跡、稲成Ⅰ遺跡、安宅本城跡、田ノ口遺跡、岩崎大泓遺跡、岩崎大泓Ⅱ遺跡、和田遺跡、和歌山城跡、地宝のひびき - 和歌山県内文化財調査報告会資料集 -、公開シンポジウム 紀中・紀南の旗頭 湯川氏の城・館・城下町 - 発表資料集
有田川町教育委員会	平成 26 年度有田川町埋蔵文化財調査年報、平成 27 年度有田川町埋蔵文化財調査年報、蘭島及び三田・清水の農山村景観
鳥取県	
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告 10 石器（1）、人・もの・心を運ぶ船～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～、青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2014、調査研究紀要 6
（公財）鳥取市文化財団	鳥取城下町遺跡（第 3 次調査）、東桂見遺跡（丘陵部）、青谷横木遺跡、岩本 40 号墳
倉吉市教育委員会	倉吉市内遺跡分布調査報告書 17・18、尾田中峰遺跡発掘調査報告書
鳥取県教育委員会	良田中道遺跡、桂見鍋山遺跡、常松菅田遺跡Ⅰ、高住井手添遺跡、常松大谷遺跡Ⅰ、下坂本清合遺跡Ⅰ
（一財）米子市文化財団	埋蔵文化財調査室年報 2、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第 4 号、米子市内遺跡発掘調査報告書、米子平野の考古学資料 尾高浅山遺跡、史跡上淀廃寺跡 第Ⅰ期保存整備報告書、陰田宮の谷遺跡・陰田マノカン山遺跡、観音寺狼谷山遺跡、境内海道西遺跡、境矢石遺跡
大山町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書Ⅶ
八頭町教育委員会	平成 19 年度北山 3 号墳発掘調査報告書、平成 26 年度町内遺跡発掘調査報告書、平成 26 年度郡家西向田遺跡Ⅲ発掘調査報告書
北栄町教育委員会	平成 24・25 年度 町内遺跡発掘調査報告書、平成 26 年度 町内遺跡発掘調査報告書
琴浦町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書、下伊勢第 1 遺跡発掘調査報告書、大高官衙遺跡、八橋第 11 遺跡発掘調査報告書、八橋第 10 遺跡発掘調査報告書
鳥取県立むきばんだ史跡公園	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2015
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	ドキ土器まいぶん No.58・No.59、旭山遺跡・中尾 H 遺跡（3 区）、城ヶ谷遺跡（1

	区）神谷遺跡 涼見Ｅ遺跡、高浜Ⅰ遺跡（2区）、柳堀遺跡・茶臼遺跡・川原宮Ⅱ遺跡、埋蔵文化財調査センター年報 24
島根県古代文化センター	古代文化研究 第 23 号、金山古墳・鵜ノ鼻古墳群・北長迫横穴墓群、前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究、日本海沿岸の潟湖における景観と生業の変遷の研究
（公財）松江市スポーツ振興財団	埋蔵文化財課年報〈18〉平成 25 年度、大庭小原遺跡、城山北公園線都市計画街路事業に伴う松江城下町遺跡発掘調査報告書 5 ～ 7、茶山遺跡、森屋敷遺跡、松江城下町遺跡（母衣町 68）、長廻遺跡、二部遺跡、松江城下町遺跡（奥谷町 322）、黒田下屋敷遺跡、臼畑遺跡・廻り遺跡
安来市教育委員会	刎畑遺跡、洞光寺跡
益田市教育委員会	山崎遺跡、日赤敷地遺跡
浜田市教育委員会	平成 26 年度 浜田市内遺跡発掘調査報告書、松原遺跡
出雲市役所	平成 26 年度出雲市文化財調査報告書、出雲鰐淵寺埋蔵文化財調査報告書
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.215 ～ No.217
島根大学ミュージアム	SHIMANEDAI MUSE Vol.5、島根大学ミュージアム年報 平成 25・26 年度
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第 59 号・第 60 号、古代山城と城柵調査の現状、攻略！おかやまの中世城館 第二巻（備前国西部編）、津山市街地とその周辺、大河内遺跡 及遺跡 小池谷遺跡 小池谷 8 号墳 小池谷 B 遺跡 ほか
津山弥生の里文化財センター	津山弥生の里第 22 号、畦田遺跡・追坊師 A 遺跡・黒岩遺跡・追坊師 B 遺跡・城山遺跡、津山城だより No.19、旧津山藩別邸庭園（衆楽園）
岡山市埋蔵文化財センター	上伊福（済生会）遺跡 1、史跡岡山城本丸跡保存整備事業報告書、岡山市埋蔵文化財センター年報 14、投馬国の考古学、酒屋谷遺跡、塩納遺跡 B 地点、幡多廃寺、直弧文の世界
井原市文化財センター	井原市文化財センター「古代まほろば館」年報 6
備前市埋蔵文化財管理センター	やきいろ
岡山県教育委員会	埋蔵文化財関係統計資料、岡山県埋蔵文化財報告 45
備前市教育委員会	備前焼の美を考える、モノの伝播とカタチ～備前焼の場合～
笠岡市教育委員会	国史跡津雲貝塚
総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報 23（平成 24 年度）、総社市埋蔵文化財調査年報 24（平成 25 年度）、一丁坦古墳群
瀬戸内市教育委員会	山田庄北畑遺跡
赤磐市教育委員会	史跡両宮山古墳保存管理計画、史跡両宮山古墳の保存について、畑古墳
真庭市教育委員会	真庭市指定史跡 高田城総合調査報告書
美作市教育委員会	勝田天山弥生墳丘墓・河内遺跡
津山郷土博物館	学芸員が作った津山城の本、津山市史研究 創刊号、津山市史だより第 2 号～第 4 号、津博 No.83 ～ No.87、平成 26 年度津山郷土博物館年報、佐平焼 - 結晶釉の美と特産品創出 -
岡山県立美術館	美術館ニュース第 108 号～第 111 号
岡山シティミュージアム	岡山びと 第 9 号
岡山大学文学部考古学研究室	津倉古墳第 1 次発掘調査概要報告書
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.54・No.55、吉備の弥生時代、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2014、鹿田遺跡 9 - 第 23 次調査 -
岡山理科大学 図書館	自然科学研究所研究報告第 40 号、岡山理科大学紀要 第 51 号Ａ・Ｂ
岡山理科大学 地理・考古学研究室	半田山地理考古第 3 号
くらしき作陽大学	くらしき作陽大学博物館実習報告第 8 号
岡山商科大学	博物館実習報告 2014 年度
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 29
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 第 25 号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース 45 号・46 号

高梁川流域連盟	高梁川 73
広島県	
（公財）広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第 114 号・第 115 号、年報 12 平成 26 年度、平成 26 年度ひろしまの遺跡を語る 弥生時代の船 記録集、国道 313 号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（4）
広島県教育委員会	平成 25 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
東広島市教育委員会	報恩寺遺跡発掘調査報告書、陣が平西 2 号遺跡発掘調査報告書、中島 1 号遺跡発掘調査報告書、団子山 5 号遺跡発掘調査報告書、聲門遺跡・安芸国分寺周辺遺跡発掘調査報告書、～東ひろしまの青銅器とガラス玉～、東ひろしまの遺跡 Vol.2
三次市教育委員会	門田敦盛第 2・3・4 号古墳発掘調査報告書
福山市教育委員会	史跡二子塚古墳発掘調査報告書、福山市内遺跡発掘調査概要Ⅸ
尾道市教育委員会	尾道市内遺跡、尾道松江線発掘物語
三原市教育委員会	史跡小早川氏城跡（三原城跡）
広島県立歴史博物館	ふくやま草戸千軒ミュージアムニュース第 102 号・第 103 号
広島大学総合博物館	広島大学東広島キャンパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ、広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第 6 号
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	陶けん第 28 号、下村遺跡 B 地区、江の河原遺跡、下津令遺跡 2、中恋路遺跡 3、朝田墳墓群
下関市立考古博物館	あやらぎ No.26、綾羅木郷遺跡とその時代 - 環濠集落 事始め -、研究紀要第 19 号、下関市立考古博物館年報 20
山口大学人文学部考古学研究室	古代武器研究 vol.11
山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報 - 平成 23 年度 -、見島ジーコンボ古墳群 第 128・137 号墳出土資料調査報告、山口県大学ＭＬ（Museum・Library）連携事業報告、てらこや埋文 2015 年春号
徳島県	
（公財）徳島県埋蔵文化財センター	四国横断自動車道（徳島～鳴門）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告、真朱第 11 号、深瀬遺跡
吉野川市教育委員会	大日寺跡
小松島市教育委員会	新居見遺跡・田浦遺跡発掘調査報告書
徳島大学埋蔵文化財調査室	徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター No.1、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 1
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	香川県埋蔵文化財センター年報 平成 26 年度、仲戸遺跡・仲戸東遺跡、旧練兵場遺跡、東坂元北岡遺跡 飯山北土居遺跡、十川東・平田遺跡、讃岐国府跡Ⅰ、丸山窯跡、多肥松林遺跡、旧練兵場遺跡Ⅶ、旧練兵場遺跡Ⅵ
香川県教育委員会	埋蔵文化財試掘調査報告ＸＸⅦ・ＸＸⅧ、香川県文化財年報 平成 25 年度
善通寺市教育委員会	善通寺市の古墳を訪ねて、五条遺跡発掘調査報告書、旧練兵場遺跡、善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 13・14
丸亀市教育委員会	新田橋本遺跡 2、中の池遺跡
さぬき市教育委員会	さぬき市内中世石造物分布調査（大川町編）
三豊市教育委員会	大塚古墳・山王山古墳・紫雲出山遺跡、宗吉かわらの里展示館 年報 4
香川県政策部	四国八十八ヶ所霊場第七十一番札所 弥谷寺調査報告書、四国八十八ヶ所霊場第六十七番札所 大興寺調査報告書
香川県立ミュージアム	高松藩主松平家墓所調査報告書、香川県立ミュージアムニュース vol.29 ～ vol.32
愛媛県	
（公財）愛媛県埋蔵文化財センター	西条藩陣屋跡、御浜御殿Ⅳ（宇和島城跡）、喜来遺跡 2 次、愛比売 平成 26 年度年報、紀要愛媛 第 11 号
（公財）松山市文化・スポーツ振興財団	久米才歩行遺跡 -7 次調査 -、本谷遺跡・高田遺跡、星岡遺跡 -1 次・3 次調査 -、

	松山市埋蔵文化財調査年報 26
今治市教育委員会	別名寺谷遺跡、旦勇龍遺跡 - 第 2 次調査 -、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成 25 年度 個人民間開発に伴う調査）、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成 25 年度 市公共事業に伴う調査）、史跡 能島城跡 平成 25 年度城内通路調査報告書、髙橋山崎遺跡Ⅱ
松山市教育委員会	久米高畑遺跡 22 次・41 次調査、久米高畑遺跡 -67 次・68 次調査 -、史跡久米官衙遺跡群調査報告書 3、タンチ山（双子塚）古墳、史跡久米官衙遺跡群調査報告書 4、史跡久米官衙遺跡群調査報告書 5、祝谷畑中遺跡 2 次調査・道後今市遺跡 7 次調査・道後今市遺跡 11 次調査、久米高畑遺跡 58 次・60 次・61 次調査、衣山北組遺跡･谷町遺跡 2 次調査、樽味立添遺跡 2 次調査･樽味高木遺跡 5 次調査･樽味四反地遺跡範囲確認調査
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2013 年度 -
高知県	
（公財）高知県文化財団	高知県埋蔵文化財センター年報第 24 号、バーガ森北斜面遺跡、東野土居遺跡Ⅱ、田村遺跡群Ⅲ、西浦遺跡、奥名遺跡、東野土居遺跡Ⅲ
高知県教育委員会	文化財こうち第 1 号、高知県埋蔵文化財年報 12
土佐市教育委員会	居徳遺跡群
高知市教育委員会	尾戸遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第 89 号～第 92 号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.23
福岡県	
小郡市埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財調査報告書 6、埋蔵文化財調査報告書 7、横隈山古墳、小板井屋敷遺跡 6・7、小板井屋敷遺跡 8、小郡前伏遺跡 3、福童町遺跡 11、寺福童町遺跡 6、下岩田石仏遺跡、三沢宮ノ前遺跡 4、国指定史跡 上岩田遺跡シンポジウム
久留米市埋蔵文化財センター	中原遺跡 - 第 4 次発掘調査報告 -、平成 26 年度久留米市内遺跡群、水分遺跡 - 第 7 次調査遺構編 -、二本木遺跡 - 第 31 次調査 -、筑後国府跡 - 第 277 次発掘調査報告 -、久留米城下町遺跡（旧呉服町）- 第 24 次発掘調査報告 -、古賀ノ上遺跡 - 第 3 次発掘調査報告書 -、筑後国府跡 - 平成 26 年度発掘調査報告 -、久留米藩主有馬家墓所Ⅰ、久留米市埋蔵文化財調査集報ＸＶ、隈山古墳群 - 第 1 次発掘調査報告 -、久留米市文化財保護課年報 vol.10
北九州市教育委員会	北九州市小倉南区長野の岩海と花崗岩洞窟、成願寺跡、目崎城跡、畠山遺跡 H 地点、砥石山遺跡第 3 地点
大野城市教育委員会	薬師の森遺跡 2、乙金地区遺跡群 12、史跡牛頸須恵器窯跡指定地周辺確認調査、御笠の森遺跡 5、御供田遺跡 2、金山遺跡Ⅱ、原浦遺跡 1、上園遺跡 5、乙金地区遺跡群 13、牛頸須恵器窯跡整備活用計画書
筑紫野市教育委員会	太宰府条坊跡第 245 次、太宰府条坊跡第 295 次発掘調査
春日市教育委員会	駿河 D 遺跡 -2 次調査 -、日拝塚遺跡 -4・5・7 次調査 -、寺田池北遺跡、駿河 A 遺跡
豊前市教育委員会	大河内林添遺跡・大河内庄屋屋敷遺跡・狭間桒原遺跡 ほか、久路土芝掛遺跡・塔田キカス遺跡、西ノ原遺跡
糸島市教育委員会	伊都国歴史博物館年報 10、伊都国歴史博物館年報 11、伊都国歴史博物館紀要第 8 号～第 10 号、三雲・井原遺跡Ⅸ
（公財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報 31、研究紀要 - 第 29 号 -、朽網馬場遺跡 第 2 地点、大手町遺跡第 11 地点、黒崎城跡 27 区、春日台遺跡第 2 地点、古船場町遺跡、鋳物師町遺跡、上徳力遺跡第 26 地点、屏賀坂遺跡 第 4 地点、御手洗遺跡、守恒遺跡第 13 地点、菅原神社遺跡 1（1 区の調査）、長野尾登遺跡第 1 地点 2 区、長野角屋敷遺跡第 8 地点、祇園町遺跡 第 6 地点、大門遺跡第 7 地点、城野遺跡 11（7 区の調査）
福岡市経済観光文化局	福岡市埋蔵文化財センター年報第 33 号、福岡市埋蔵文化財年報 VOL.28、元岡･桑原遺跡群 25、元岡・桑原遺跡群 24、女原遺跡 6、比恵 68・69、比恵 68、箱崎 48、博多 148 ～ 152、拝塚古墳、野間 B 遺跡 3、野芥遺跡 6、那珂 71 ～ 73、

	熊本遺跡 3、岸田遺跡 1・2、岸田遺跡 1、大塚遺跡 8、今山遺跡第 6 次調査、井相田 C 遺跡 10、井尻 B 遺跡 25・26、有田・小田部 55・56
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 12 号
九州歴史資料館	九歴だより No.41・No.42、九州歴史資料館研究論集 40
粕屋町立歴史資料館	阿恵天神森遺跡第 2 地点、糟屋評衙・阿恵遺跡
佐賀県	
佐賀市教育委員会	東名遺跡から見える縄文の世界、佐賀城跡Ⅳ、神野二本松遺跡 4、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2012 年度 -、上和泉遺跡 10 区、五龍神社遺跡、上恒安遺跡
唐津市教育委員会	唐津城跡本丸 2、唐津市内遺跡確認調査（31）、谷口石切丁場跡
神埼市教育委員会	市内遺跡確認調査概要報告書Ⅶ
熊本県	
宇土市教育委員会	宇土城跡（西岡台）ⅩⅢ
熊本市観光文化交流局	熊本市埋蔵文化財調査年報第 17 号、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 平成 26 年度 -、東中原遺跡・山頭遺跡、池辺寺跡 17、藤原遺跡、大江遺跡群Ⅹ、大江遺跡群ⅩⅠ、田原坂Ⅴ
八代市立博物館未来の森ミュージアム	交流する弥生人～邪馬台国時代のやつしろ～
大分県	
中津市教育委員会	中近世城館確認調査（2）・市内試掘確認調査
宇佐市教育委員会	別府遺跡群 4、市内遺跡発掘調査概報 23
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎県埋蔵文化財センター年報第 19 号、一本松遺跡
宮崎市教育委員会	生目古墳群の実像、中須遺跡、古城第 2 遺跡、下屋敷第 1 遺跡、高岡麓遺跡第 37 地点、下北方花切第 2 遺跡、佐土原城跡（第 8 次調査）、生目古墳群Ⅴ
都城市教育委員会	富吉平遺跡、下尾平野第 4 遺跡、祝吉第 3 遺跡（第 2 次調査）、田辺開拓第 2 遺跡、茶園原遺跡、上針谷・下針谷遺跡
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第 67 号～第 69 号
（公財）鹿児島県文化振興財団	～かごしまの遺跡～ 第 7 号～第 9 号、平成 27 年度 要覧
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第 54 号・第 55 号、埋蔵文化財関係統計資料（解説）
（株）新泉社	十二支になった動物たちの考古学
（株）イビソク	伏見城跡、平安京左京八条二坊三町跡、平安京左京二条四坊五町跡・烏丸丸太町遺跡
国際文化財株式会社	平安京右京三条二坊七町跡・西ノ京遺跡発掘調査報告書
（公財）福武財団	公益財団法人福武財団助成活動アニュアルレポート 2015

平成28（2016）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成28年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	副参事（兼）課長	福本　明
埋蔵文化財センター	館　長	鍵谷 守秀
〃	主　幹	小野 雅明
〃	主　任	藤原 好二
〃	嘱託職員	内田 智美
〃	〃	那須 玲子
〃	〃	日下 美樹

（職名等は平成29年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1　調査事業

(1) 事前協議　Fax 等による埋蔵文化財包蔵地照会は435件と前年度比で約46％の大幅増となった。ここ2年ほどの減少傾向から一転して、平成25年度の水準に戻っている。また開発指導要綱に基づく事前協議の件数は6件、墓地経営許可に関する事前協議は4件であった。このうち要害山城跡、上東遺跡、真神古墳群に係る各1件について文化財保護法に基づく届出が提出された。

(2) 発掘調査　平成28年度は全面調査1件、確認調査3件、立会調査44件を実施した。農業基盤整備事業に伴って実施した門ノ前遺跡の全面調査では、中世の掘立柱建物1棟が確認された。立会調査は、公共工事に伴うものが18件、民間の開発に伴うものが26件である。神社の石段改修工事に伴って実施した酒津山4号墳の立会調査では、埴輪片の散布を認めたものの、古墳に伴う遺構は確認されなかった。

(3) 分布調査　新発見の遺跡として、連島町連島地区において3基、福江地区において1基の横穴式石室墳を確認し、データを登録するとともに倉敷市遺跡地図に付け加えた。

(4) 整理作業　門ノ前遺跡の須恵器や確認調査等で出土した遺物の洗浄・注記を実施した。報告書作成に伴って酒津 - 水江遺跡及び上水島遺跡から出土した遺物の実測を行った。

2　教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、延べ19回の講座等を実施。延べ参加人数3,430人。

講座・イベント名	実施日	内　容	参加人数
春の遺跡見学会㉑	5/8（日）	笠岡市の遺跡を訪ねる	32人
光る粘土のはにわ作り	7/24（日）	蛍光粘土を用いたはにわ作り	13人
古代の勾玉を作ろう	7/27（水）	高麗石を用いた勾玉作り	25人
銅板の古代バッジ	7/31（日）	銅板を用いたレトロバッジ作り	7人
真ちゅうの古代タグ	8/3（水）	真ちゅうに絵を彫ったタグ作り	9人
らでんのキーホルダー	8/7（日）	螺鈿細工のキーホルダー作り	15人
ガラスでとんぼ玉を作ろう	8/10（水）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	15人
古代の土笛を作ろう	8/14（日）	はにわ粘土を用いた土笛作り	23人
ライフパークの集い	8/21（日）	ミニチュア土器等の発掘体験	2,434人
ミニチュアの古代鏡を作ろう	8/24（水）	低融点合金を用いたミニチュア鏡作り	11人
勾玉のアクセサリー	10/13（木）	高麗石を用いた勾玉作り	7人
とんぼ玉のアクセサリー	10/20（木）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	15人
秋の考古学講座 「倉敷考古館と吉備の遺跡調査」	11/13（日）	金蔵山古墳の発掘調査	25人
〃	11/20（日）	大飛島遺跡の発掘調査	18人
〃	11/27（日）	倉敷考古館の見学	16人
こどもまつり	2/12（日）	とんぼ玉ストラップ作り	706人
らでん細工の朱肉ケース	2/16（木）	螺鈿細工の朱肉ケース作り	18人
キレイな石のペンダント	2/23（木）	高麗石を用いたペンダント作り	17人
山城探訪	3/1（水）	備中猿掛城を歩く	24人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛作り等、延べ12回の派遣。延べ参加人数238人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/18（水）	倉敷芸術科学大学	40人
古代の土笛作り	7/26（火）	上成キラキラ児童クラブ（上成小学校内）	26人
〃	7/28（木）	倉敷夢クラブ（倉敷西小学校内）	17人

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
古代の土笛作り	7/29（金）	玉島西公民館	22人
〃	8/9（火）	リピート学童保育	14人
〃	8/23（火）	にまっこ子児童クラブ（二万小学校内）	20人
古代模様のしおり作り	8/25（木）	ENL アカデミー	7人
〃	9/6（火）	白ゆり会	8人
〃	9/28（水）	大島健康の会	18人
ひさしやま学習	12/8（木）	倉敷市立庄小学校	39人
博物館見学実習	1/14（土）	くらしき作陽大学	6人
古代模様のしおり作り	3/17（金）	まびっこ岡田児童クラブ	21人

(3) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第16集
「酒津 - 水江遺跡範囲確認調査 上水島遺跡範囲確認調査」
A4判　本文95頁　図版15頁　500部　平成29年3月刊行

(4) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
4/15（金）～ 2017/4/14（金）	狐塚省蔵氏寄贈考古資料 岡山市千足古墳 埴輪片　他　495点	鹿児島国際大学	胎土分析資料として サンプリングするため
8/26（金）～ 10/28（金）	矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪　1点	岡山市教育委員会 （岡山シティミュージアム）	平成28年度特別展 「超巨大古墳の時代」にて展示

(5) 写真の掲載許可等

許可日	資料名・数量	許可先	掲載物
2/23（木）	矢部出土竜形土製品　1点	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館	平成29年度春季特別展 「新発見！弥生絵画」 図録及び展示パネル

3　利用者数

展示・講座等を含めた平成28年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は13,398人で、昨年度と比較して約13％の減となった。

《平成28年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	279	341		620	26	24
5	365	557	72	994	26	38
6	246	566		812	26	31
7	404	612	110	1,126	27	42
8	550	697	2,552	3,799	26	146
9	323	347	26	696	26	27
10	324	413	31	768	26	30
11	292	291	59	642	26	25
12	173	205	39	417	23	18
1	229	215	6	450	23	20
2	453	405	741	1,599	24	67
3	749	681	45	1,475	27	55
合計	4,387人	5,330人	3,681人	13,398人	306日	44人

4　寄贈資料

平成28年度には下記の考古資料等の寄付を受けた。

寄　贈　日	寄贈者名	資　料　名	数　量
3/24（金）	（公財）倉敷考古館	広江・浜遺跡発掘調査の出土資料	178箱

Ⅲ 教育普及事業報告

1　春の遺跡見学会㉑
～笠岡市の遺跡を訪ねる～

日　時　平成28年5月8日（日）
講　師　安東康宏（笠岡市教育委員会）
　　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　32人

午前中は、笠岡市教育委員会の安東康宏氏を講師に迎え、笠岡市立郷土館と津雲貝塚を見学した。郷土館では、津雲貝塚の出土資料解説や大正時代に行われた発掘調査の話、午後に見学する関戸廃寺と長福寺裏山古墳群の出土資料の解説をお聞きした。縄文土器、貝輪などの装身具、縄文人骨を熟覧し、次の見学に備えた。大飛島遺跡についても詳しく解説され、参加者は興味深く聞き入った。津雲貝塚では貝塚の範囲や当時の海岸線の話を聞いた。これまで100体以上の人骨が見つかった理由について、津雲貝塚は中心的な縄文集落と位置づけられ、他地域の縄文人たちも埋葬された集団墓地のような性格を示すのではという見解が示された。昼食後に訪れた関戸廃寺では、金堂、塔、東方建物といった中心的な建物の跡を巡回し、古代寺院の姿を想像した。最後に訪れた長福寺裏山古墳群では、古式須恵器が出土した七つ塚古墳群や当地域最大の前方後円墳の双つ塚古墳、上下２基の竪穴式石室が築かれた仙人塚古墳や東塚古墳などを巡り、帰路に就いた。

2　夏休み体験講座
～光る粘土のはにわ作り～

日　時　平成28年7月24日（日）
講　師　内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学4～6年生
参加者　13人

蓄光粘土を使って、人形埴輪のオブジェと、埴輪の絵を描いたマグネットを制作した。埴輪は体づくりからはじめ、腕の向きや顔の表情は自由にさせた。マグネットは、事前に絵が描けれる状態に準備しておき、参加者がサンプルの中からイラストを選んで写しとって完成させるようにした。完成後に暗い部屋へ移動し、どんなふうに光るのか見てみた。ぼわ～っと光ることに、子供達はうれしそうだった。

3　夏休み体験講座
～銅板の古代バッジ～

日　時　平成28年7月31日（日）
講　師　那須玲子（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学5・6年生
参加者　7人

バッジは5㎝角の銅板に、主となる古代模様を写し空いたスペースにオリジナルの模様を加えて下絵を描く。マットの上に銅板を置き、下絵を専用のヘラで表裏返しながらなぞり凹凸をつけ立体的にする。その後、銅板をいぶし液に漬けて黒化着色し、スチールたわしで表面の余分な黒化をこすり落とし、仕上げて裏にピンを付けバッジにした。ヘラで押す作業がほとんどで、子供達は手が疲れて大変そうだったが、完成すると嬉しそうな様子だった。

4　考古学体験講座
～らでん細工の朱肉ケース～

日　時　平成29年2月16日（木）
講　師　那須玲子（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　18人

四角形のコンパクト型朱肉ケースの蓋にらでん細工を施した。薄いシート状の貝に描いた絵をカッターナイフで切り抜くのだが、割れやすく硬い貝は刃が上手く入らず、参加者全員が苦労していた。切り抜いた絵や細かな貝の破片を思い思いに貼り付けていくと、黒地の中で貝の模様がはっきりと浮かび上がりキラキラと光る作品が完成した。出来上がった作品を見た参加者は、きれいな見た目に感動しているようだった。

5　山城探訪
～備中猿掛城を歩く～

日　時　平成29年3月1日（水）
講　師　西野 望（矢掛町教育委員会）
対　象　一般
参加者　24人

猿掛城の探訪は、平成20年度に山城探訪を開始して以来、3回目となる。今回も定員20名の募集に対し、50名以上の応募があり、その人気に陰りは見えなかった。当日は少し曇り気味ではあったが、山登りに支障は無く、急な山道を一列で登っていった。途中の郭である寺丸や太夫丸で郭の解説を受けた後、最高所の主郭に到着すると、総社平野まで見渡せる眺望に受講生一同驚きを隠せない様子であった。矢掛町教育委員会の西野望氏の解説は丁寧でわかりやすく、受講生は熱心に聞き入っていた。

Ⅳ 調査事業報告

平成28年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	五日市東貝塚	五日市	浄化槽埋設工事	立　会	16.04.09	遺物・遺構なし
2	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	16.04.27	〃
3	上東遺跡	上東	個人住宅建設工事	〃	16.04.28 16.04.29	〃
4	尾崎東谷遺跡	真備町尾崎	道路改良工事	〃	16.05.10	近世磁器片
5	上東遺跡	上東	個人住宅建設工事	〃	16.05.12 16.05.19	遺物・遺構なし
6	上東遺跡	上東	レストラン増築工事	〃	16.05.20	弥生土器片・須恵器片
7	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	16.05.24	遺物・遺構なし
8	釜屋ノ上遺跡	玉島勇崎	道路改良工事	〃	16.06.01	〃
9	古宮後遺跡	真備町岡田	個人住宅建設工事	立　会	16.06.17	〃
10	福田貝塚	福田町福田	宅地造成工事	〃	16.06.26	〃
11	矢砂遺跡	真備町箭田	宅地造成工事	〃	16.06.28	〃
12	上東遺跡	上東	個人住宅建設工事	〃	16.07.26	〃
13	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	16.07.26	〃
14	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	16.07.27	〃
15	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	16.08.18	〃
16	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	16.08.27	〃
17	上東遺跡	上東	個人住宅建設工事	〃	16.09.24	〃
18	諸興寺跡	木見	警鐘台撤去工事	〃	16.09.27	〃
19	磯の森貝塚	粒江	水道管埋設工事	〃	16.10.06	〃
20	下庄遺跡	下庄	ガス・水道管埋設工事	〃	16.10.07	〃
21	王墓山 赤井南1号墳	日畑	個人住宅建設工事	〃	16.10.07	〃

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
22	門ノ前遺跡	玉島陶	圃場整備事業	全　面	16.10.12 ～ 16.10.21	掘立柱建物 亀山焼片 他
23	上東遺跡	上東	個人住宅建設工事	立　会	16.10.13	遺物・遺構なし
24	王墓山 赤井南1号墳	日畑	ガス管埋設工事	〃	16.10.18	〃
25	平松城跡	下庄	水路改修工事	〃	16.10.27	〃
26	上東遺跡	上東	水道管埋設工事	〃	16.11.05 16.11.15	〃
27	久能遺跡	真備町服部	個人住宅造成工事	〃	16.11.17	〃
28	下庄遺跡	下庄	下水道管埋設工事	〃	16.11.18	〃
29	久能遺跡	真備町服部	個人住宅造成工事	〃	16.11.18 16.11.22	土師質土器細片 須恵器片
30	王墓山 赤井南1号墳	日畑	浄化槽埋設工事	〃	16.11.26	遺物・遺構なし
31	尾崎東谷遺跡	真備町尾崎	道路改良工事	〃	17.01.17	〃
32	酒津山4号墳	酒津	神社石段改修工事	〃	17.01.24	埴輪片
33	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	17.01.25	弥生土器細片
34	城遺跡	児島味野城	水道管埋設工事	立　会	17.02.07	遺物・遺構なし
35	塩生遺跡	児島塩生	公園トイレ改築工事	〃	17.02.07 17.02.09	〃
36	亀崎城跡	玉島阿賀崎	下水道管埋設工事	〃	17.02.16	〃
37	土師谷遺跡	真備町箭田	建売住宅建設工事	〃	17.02.28	〃
38	久能遺跡	真備町服部	個人住宅建設工事	〃	17.03.01	〃
39	上東遺跡	上東	水路樋門改修工事	〃	17.03.02	〃
40	御堂奥遺跡	二子	水路改修工事	〃	17.03.10	〃
41	宮の前遺跡	真備町川辺	水路改修工事	〃	17.03.16	〃
42	正保堤	玉島勇崎	下水道管埋設工事	〃	17.03.28	〃

調査地点位置図（S＝1/100,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.7）

調査位置　上東字左馬之助250番1外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　16.05.24　　**調査担当**　鍵谷・藤原

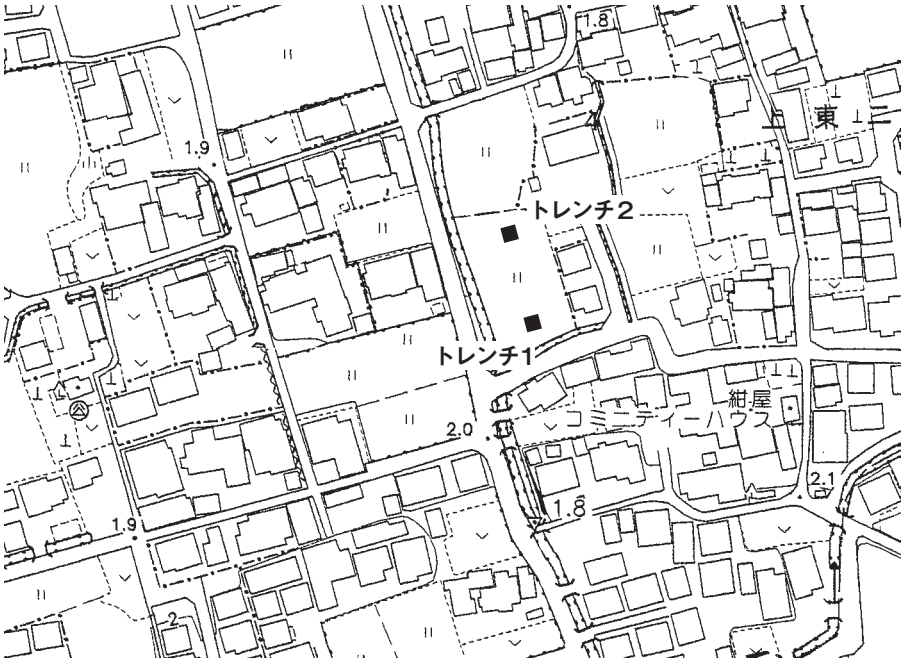
遺跡の概要　上東遺跡は倉敷市の北東端、足守川の河口域に位置する弥生時代後期を中心とする集落跡である。これまでの岡山県教育委員会による発掘調査では、数多くの竪穴式住居や井戸をはじめ、製塩や船着場の跡なども検出されている。今回の調査地周辺でも、1995年に南側に接する道路の改良工事が行われ、やや東方で弥生土器の薄い包含層が検出されている。また、2009年にはすぐ東側の土地で行われた宅地造成に伴う立会調査において、弥生後期の土器を伴う遺構（土壙か）が確認されている。

調査の概要　調査地は倉敷市庄公民館の東約250ｍで、西側と南側を用水路に接した標高1.5ｍ程の水田である。調査は2×2ｍのトレンチを2か所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ1は計画敷地の南辺から北へ約7ｍの地点に設定した。現在の水田耕作土の下には、褐灰色粘質土、褐灰色粘質土、灰色粘質土の順に堆積している。上の褐灰色粘質土は均質な土層で、弥生時代後期の土器片が1点出土したが、状況等から周辺部からの流れ込みと思われる。灰色粘質土の下は、厚さ約15㎝程度の黒褐色粘質土を挟んで、上下に灰色系の砂質土（青灰色砂質土・灰色砂）が認められた。また、黒褐色粘質土と灰色砂の境には自然木の小片が比較的多く見られた。さらに灰色砂を20㎝程度掘り下げた標高約0.1ｍの高さで、急激な湧水が始まったため以下の掘り下げは不可能となった。

トレンチ2は計画敷地の北寄りに設定した。基本的な土層はトレンチ1とほぼ同じで、現在の水田耕作土の下には粘質を帯びた土層が3層認められる。その下もトレンチ1における土層と色や質がそれぞれ酷似しており、同じ土層の続きと考えられる。また、灰色砂の上面に自然木の小片が比較的多く見られるのも、同様である。なお、土器片等の遺物は全く出土しなかった。

今回の調査では遺構や遺物包含層等は確認できず、トレンチの土層を見る限り、当該調査対象区域は低湿地に近い状況であったと思われる。　（藤原）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

釜屋ノ上遺跡確認調査報告（一覧表 No.8）

調査位置　玉島黒崎地内
調査原因　道路改良工事　　**調査面積**　3㎡
調査期間　16.06.01　　**調査担当**　小野・藤原

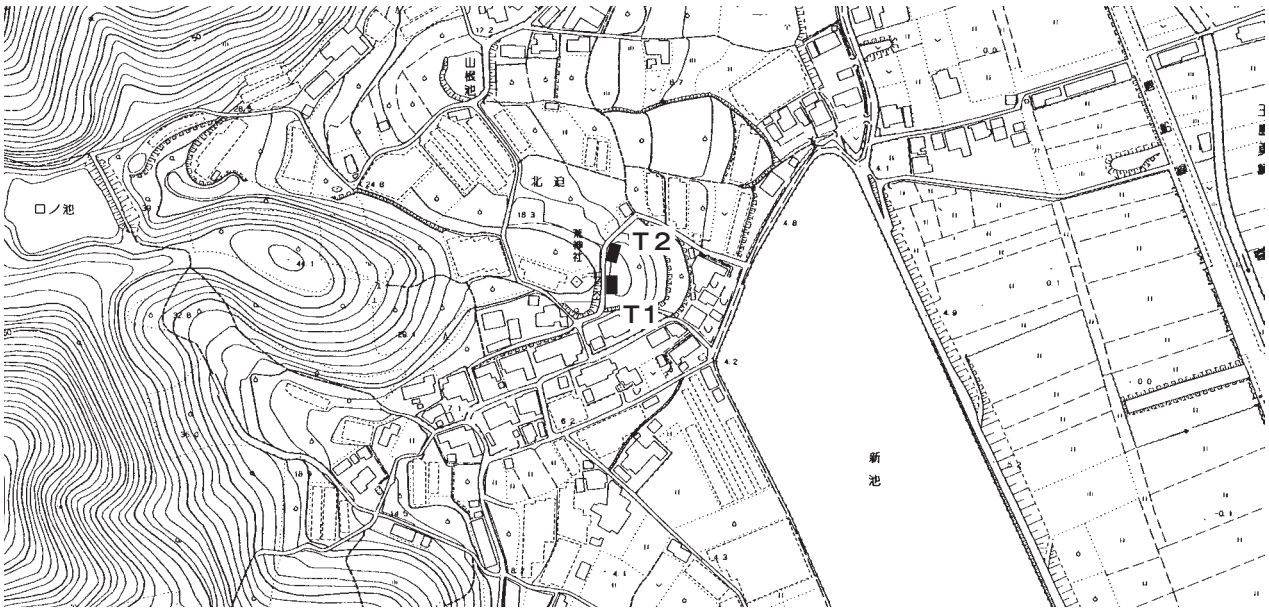
遺跡の概要　釜屋ノ上遺跡は、倉敷市と浅口市を画する山塊から東に向かって突出する標高27m程の舌状台地上に立地している。遺跡の眼前には、新池と呼ばれる農業用のため池と水田が広がっているが、中世まではこの付近に海が入り込んできており、近世の干拓によって陸地化したところである。新池の西岸には縄文後期の中津式土器を出土した中津貝塚があり、本遺跡の北700m程の山裾には同じく縄文後期の西元浜貝塚も所在しており、当時の海岸線を知ることができる。また、本遺跡からは縄文時代のものと推定されるサヌカイトの剥片の他にも、中世の亀山焼や土師質土器の破片が採集されている。

調査の概要　調査地は標高25mほどの畑地であり、拡幅予定の道路面より1.2mほど高くなっている。調査は道路改良によって削平される部分に2か所のトレンチ（長さ2m）を設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ1は舌状台地の最高所に位置する荒神社の石段前面付近に設定した。厚さ12㎝程の耕作土の下には、すぐに地山（明黄褐色粘質土）が検出され、遺物・遺構は確認されなかった。

トレンチ2はトレンチ1の北約20m、やや低い位置に設定した。厚さ25㎝程の耕作土の下は、やはりすぐに地山（明黄褐色粘質土）が検出され、遺物・遺構は確認されなかった。

今回の調査ではいずれのトレンチからも遺物・遺構は確認されなかったが、周囲の畑地中にはサヌカイト剥片や比較的多くの土師質土器片の散布が認められる。このことから、この舌状台地上に遺跡が立地していたことは間違いないと考えられるが、調査地付近においては畑地の開墾等によってすでに削平されてしまったものと推定される。（藤原）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

門ノ前遺跡発掘調査報告（一覧表 No.22）

調査位置　玉島陶2209番1
調査原因　圃場整備事業　　**調査面積**　110㎡
調査期間　16.10.12～16.10.21　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　倉敷市玉島陶地区では、古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての窯跡が20基以上確認されており、これらは玉島陶古窯跡群と呼ばれている。この陶地区のほぼ中央にあたる陶中地区において圃場整備事業を行う計画があり、平成26・27年度に試掘調査を行った結果、計画地の北東端に設定したトレンチ2から中世のものと考えられるピット数基が確認された。このため、遺跡名を小字からとった門ノ前遺跡とし、ピットが確認されたトレンチ2を中心とした範囲について発掘調査を実施することとなったものである。なお、調査地は標高約60m、北の弥高山から流れ出る真谷川の東岸にあたる水田である。

調査の概要　調査範囲は北辺で東西12m、南辺で東西7m、南北12mの約110㎡である。確認調査時に遺構が検出されなかった地表下40㎝までは重機による掘削を行い、その後遺構の検出作業を実施した。その結果、掘立柱建物1棟を含むピット22基を確認することができた。なお、遺構の掘り込まれた層（断面図⑥層）は拳大の角礫を含む土で、南東に向かって緩やかに下がっていく。この下がった部分には、拳大の角礫とともに古代～中世の土器片・瓦片を含む④・⑤層が堆積していた。

掘立柱建物は桁行3間、梁行1間で、西側と南側に庇か縁を敷設していると推定される。北辺の柱穴（P2・P3・P5・P6）は検出面での直径が25～30㎝、深さは約25～40㎝である。P2とP6の芯々距離は5.7mで、各柱穴間の距離は不揃いである。P2とP3の間が1.6m、P3とP5間が2.4m、P5とP6の間は1.7mとなっている。

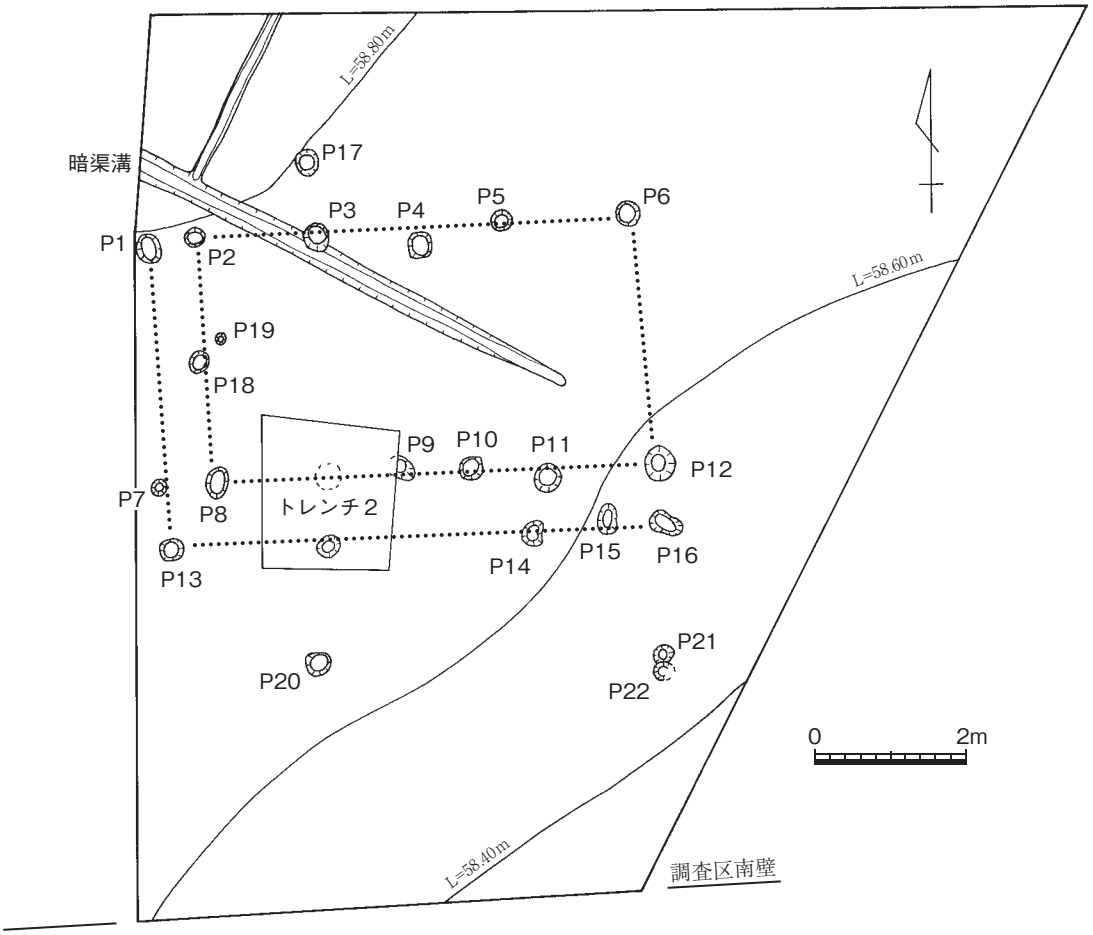
南辺の柱穴（P8・P11・P12）は検出面での直径が25～30㎝、深さは約20～50㎝である。P8とP12の芯々距離は5.8mである。なお、確認調査時の所見からP8とP9の間にピット1基の存在することが分かっており、これが南辺の柱穴の一つになると推定される。P11とP12との芯々距離は1.5mである。

調査区位置図（S=1/5,000）

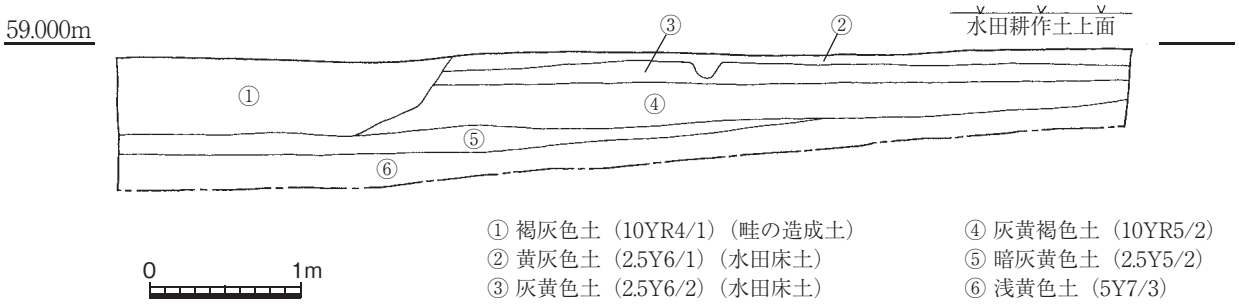
P1・P7・P13は西側の庇か縁を構成

する柱穴と推定される。検出面での直径は25～30㎝、深さはP1が深く、検出面から約40㎝、P7・P13は約20㎝である。P1とP13の芯々距離は4.0ｍである。P13～P16は南側の庇か縁を構成する柱穴と推定される。確認調査時の所見からP13とP14の間にピット1基の存在することが分かっている。P14～P16は検出面では不整形で径30～40㎝、深さは約20～40㎝である。P13とP16の芯々距離は6.5ｍである。庇か縁の柱穴と建物の距離は、西側が約0.7ｍ、南側が約0.8ｍであり、庇か縁を含めた建物の規模は東西6.5ｍ、南北4.1ｍとなる。

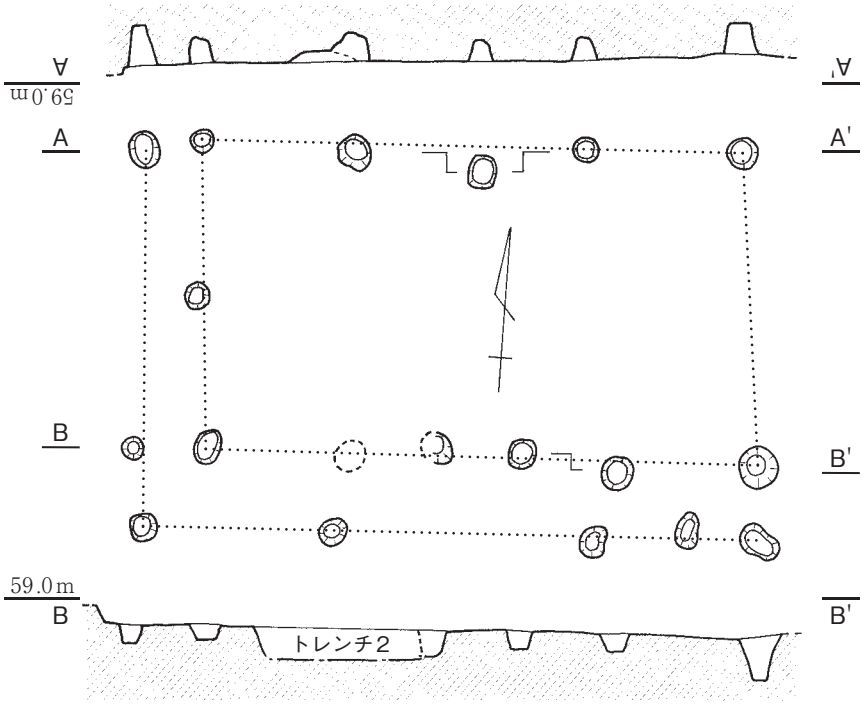
出土遺物としては、建物から南西に向かって下がる堆積層中（④・⑤層）および柱穴の埋土から亀山焼や土師質土器椀の破片が多く検出された他、古代の須恵器片・縄目瓦片・窯体片も出土している。



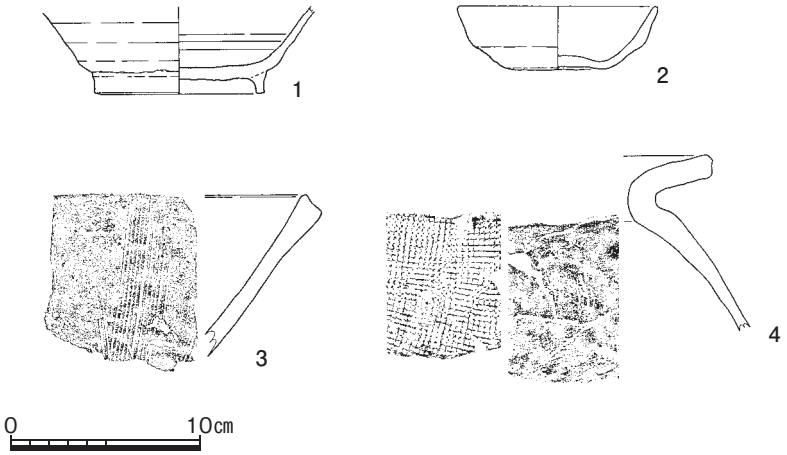
遺構配置図（S＝1/100）



調査区南壁断面図（S＝1/50）



建物平面図（S＝1/80）



出土遺物（S＝1/4）

1は高台を持つ須恵器坏で、8世紀後半のものと考えられる。**2**は高台を持たず底部を凹めた土師質土器椀で、直径10.5㎝、器高3.4㎝を測る。**3**は亀山焼の擂鉢で、内面には櫛描き風の卸目が施され、外面には指頭圧痕が残る。**4**は亀山焼の甕の口縁部である。外面には一辺3㎜程度の格子目タタキが施され、内面は同心円タタキを丁寧にナデ消している。

出土遺物の内、**1**をはじめとする古代の遺物は真谷川の上流にある窯跡などから土石流に混じって流れてきたものと考えられる。また、中世の遺物については、図示したものの他に直径4㎝程度まで小型化した高台を持つ土師質土器椀等が認められることから14世紀半ば頃の時期が考えられ、掘立柱建物の時期もほぼ同様とみられる。　（藤原）

遺構完掘状況（北西から）

遺構完掘状況（東から）

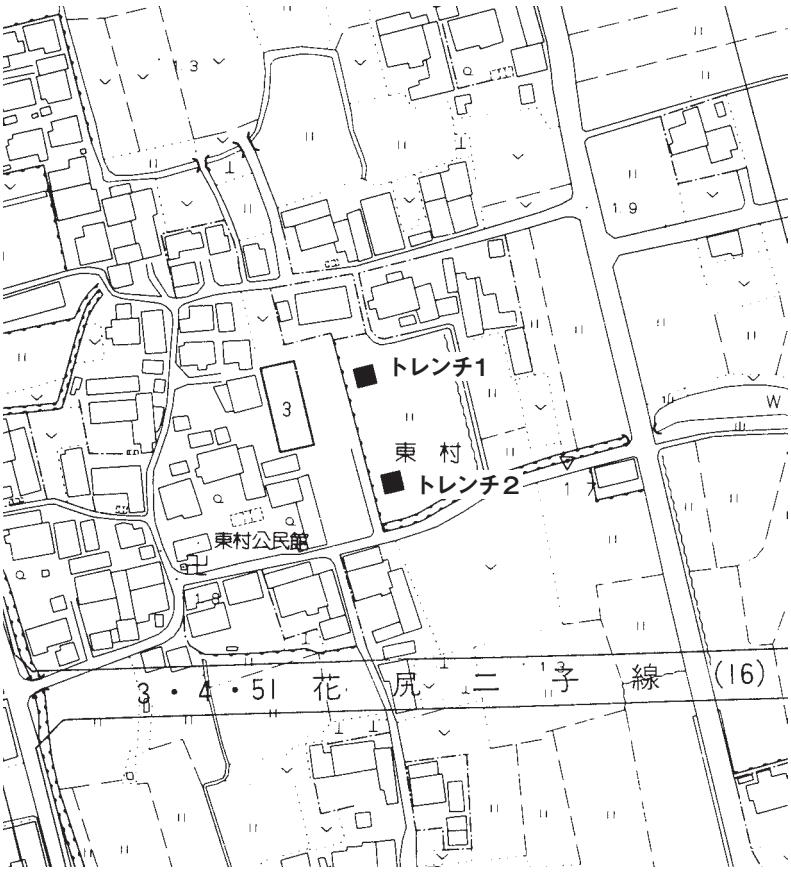
上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.33）

調査位置　上東字左馬之助309番16 外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　17.01.25　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は、足守川河口域に形成された沖積平野に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、中世までの遺構、遺物が確認されている。調査対象地は倉敷市役所庄支所の北東約500ｍにある水田で、南北60ｍ、東西18ｍの範囲である。周辺地区の調査歴については、開発予定地の北端から北西100ｍの地点において、2003年に実施した分譲住宅地造成工事に伴う確認調査で微高地が確認され、弥生時代の溝などの遺構が検出された。一方、開発予定地の南端から南南西60ｍの地点ならびに東南東50ｍの地点において、2004年に実施した2件の確認調査では微高地は確認されなかった。

調査の概要　工事予定地に2×2ｍのトレンチを2か所設定し、土層断面の観察を中心にして調査を実施した。現地表面の標高は約1.4ｍである。トレンチ1では、水田床土の下に弥生土器の細片を含む灰褐色土がみられるが、遺物は周辺からの流れ込みと思われる。その下には、灰黄褐色土、暗灰黄色粘質土、黄褐色粘質土、灰色粘質土（上面の標高0.7ｍ、湧水層）が続いている。これらの層からは遺物は出土していない。また、いずれの層からも遺構は確認されていない。トレンチ2では、水田床土の下に黄灰色土、灰黄色土、黄灰色土、にぶい黄色土（上面の標高0.9ｍ）が続いており、これらの層には弥生土器の小片が少量含まれる。出土した土器は一様に摩滅が著しく、周辺から流れ込んだものと考えられる。にぶい黄色土の下には、湧水層である暗灰色粘質土がみられた。この層には遺物は含まれていない。また、いずれの層からも遺構は確認されていない。

以上のように、今回の調査では明確な遺構、遺物包含層は確認されず、安定した基盤層も認められなかった。周辺地域における過去の調査結果を参照すると、この場所に存在する弥生時代の微高地の範囲は、東村の集落地にほぼ重なると推定され、当該地はその微高地の南東に位置する低地と考えられる。　（小野）



トレンチ位置図（S＝1/2,500）

Ⅴ 寄贈図書一覧（2016.4.1～2017.3.31）

岩手県	
岩手大学平泉文化研究センター	岩手大学平泉文化研究センター年報 第3集・第4集
宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市内の遺跡2、高崎遺跡ほか、八幡沖遺跡 - 第13次調査 -
秋田県	
秋田県埋蔵文化財センター	秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第30号・第31号、西板戸遺跡 窪遺跡、峰峰吉川中村遺跡、上谷地遺跡（第2次）、遺跡詳細分布調査報告書
茨城県	
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要 第26号
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	みんなの知らない植物の世界 - 適材適所の考古学 -、籾買場遺跡（第2次調査）、上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報第21号
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第27号
埼玉県	
吉見町埋蔵文化財センター	町内遺跡10
富士見市教育委員会	市内遺跡発掘調査Ⅳ・Ⅴ・Ⅸ、宿（多門氏館跡）遺跡第4地点発掘調査報告書、観音前遺跡第30地点発掘調査報告書、観音前遺跡第43地点・神明遺跡第22地点発掘調査報告書、殿山遺跡第8地点発掘調査報告書、東台遺跡第41地点発掘調査報告書
越谷市教育委員会	大道遺跡発掘調査報告書Ⅰ
千葉県	
（公財）千葉市教育振興財団	千葉市田向遺跡
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第201集・第203集・第204集、国立歴史民俗博物館 要覧 平成28（2016）年度
東京都	
宮内庁書陵部	書陵部紀要第67号・第67号（陵墓篇）
荒川区立荒川ふるさと文化館	荒川ふるさと文化館だより第35号、町屋四丁目実揚遺跡H地点発掘調査報告書
文京ふるさと歴史館	文京ふるさと歴史館だより第23号
早稲田大学考古学会	古代第139号
青山学院大学文学部史学科研究室	青山史学 第三十三号
明治大学校地内遺跡調査団	下原・富士見町遺跡Ⅲ
神奈川県	
横須賀市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査概報集ＸＸⅡ
石川県	
小松市埋蔵文化財センター	八日市地方遺跡Ⅱ
福井県	
福井市文化財保護センター	福井城跡ＸＸ
福井市教育委員会	平成26年度 年報、福井城発掘物語～碧の章～、福井城発掘物語～灯の章～、大陸をみつめた王たち～5世紀のふくいから～、土の中の祈り、平成22年度発掘速報展、ミゾ・MIZO・みぞ～高柳遺跡のミゾ展～、平成23年度発掘速報展、縄文人のいた時代、ふるさと発掘モノ語～森田の遺跡の調査から～、平成24年度発掘速報展、平成25年度発掘速報展、平成26年度発掘速報展、平成27年度発掘速報展、古墳誕生、墨書土器の世界、古墳絶頂、中世 城・館・寺を掘る、今市遺跡2
山梨県	
韮崎市教育委員会	上横屋遺跡第4地点、史跡新府城跡、夏目下新田石積遺跡、平成26年度韮崎市内埋蔵文化財有無確認調査事業 市内遺跡発掘調査報告書、平成21年度市内遺跡試掘認調査及び個人住宅等発掘調査報告書、山道遺跡発掘調査報告書、山影遺跡Ⅵ

長野県	
（一財）長野県文化振興事業団	海岸寺遺跡、鬼釜遺跡 風張遺跡 神之峯城跡、出川遺跡群 矢出川第Ⅷ遺跡、浅川扇状地遺跡群 本村南沖遺跡、黒部遺跡 二ッ石前遺跡、信州の遺跡第 10 号、かがみちゃんと学ぼう ジュニアこうこがく第 5 号
松本市教育委員会（文化財課）	松本城三の丸跡を掘る、林山腰遺跡Ⅱ - 発掘調査報告書 -
辰野町教育委員会	石臼原遺跡、丸山下遺跡Ⅱ・Ⅲ 甘露井遺跡 堂村遺跡、宮木宿の町並み調査報告書、神明神社舞台修理工事報告書
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.87 ～ vol.90、信濃国の城と城下町
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	轍
美濃市教育委員会	樋口遺跡発掘調査報告書、観音堂遺跡他、改田遺跡 B 地点発掘調査報告書
養老町教育委員会	日吉遺跡発掘調査報告書
静岡県	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.11・Vol.12
静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報 21- 平成 26 年度・22- 平成 27 年度 -
愛知県	
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第 35 号
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報 32・31、見晴台遺跡ガイドブック、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第 16 号
豊田市郷土資料館	史跡龍性院庭園総合調査報告書、高橋遺跡北東区、寺部城跡・寺部城関連遺跡・勧学院文護寺跡・寺部遺跡、豊田市郷土資料館だより No.95 ～ No.97、豊田大塚古墳Ⅱ、寺部遺跡Ⅵ、平成 26 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書 7
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集 185
三重県	
松阪市文化財センター	平成 26 年度年報
志摩市教育委員会	おじょか古墳（志島古墳群 11 号墳）発掘調査報告
滋賀県	
守山市立埋蔵文化財センター	下之郷遺跡関連発掘調査報告書、守山市文化財調査報告書、下之郷遺跡確認調査報告書Ⅹ
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 28 集・第 29 集、史跡 雪野山古墳 第 3 版、鯰江城・井元城・青山城・小倉城、相谷熊原遺跡、金貝遺跡、繖山の古墳群 山面古墳群
（公財）滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.28 ～ Vol.30、レトロ・レトロの展覧会 2016
（公財）栗東市体育協会	中沢遺跡発掘調査報告書 平成 25 年度 2 次調査、下鈎遺跡発掘調査報告書 平成 25 年度 2 次調査、蜂屋遺跡発掘調査報告書 平成 26 年度 1 次調査、綣遺跡発掘調査報告書 平成 26 年度 1 次調査、中沢遺跡 平成 27 年度 1 次調査、蜂屋遺跡発掘調査報告書 平成 27 年度 1 次調査、笠川城遺跡発掘調査報告書 平成 27 年度 1 次調査、上鈎遺跡発掘調査報告書 平成 27 年度 1 次調査、野尻遺跡 平成 27 年度 1 次調査、はっくつ 2015- 栗東市話題の発掘調査 -、中国陶磁器、地のまつりと水のまつり、栗東市埋蔵文化財調査報告 2014（平成 26）年度年報、岡遺跡 平成 25 年度 1 次調査、手原遺跡 平成 27 年度 4 次調査
滋賀県教育委員会	滋賀県内遺跡発掘調査報告書、安養寺遺跡、金森西遺跡、蛭子田遺跡、堤ヶ谷遺跡、滋賀県内遺跡発掘調査報告書
大津市教育委員会	穴太遺跡（南山田地区）発掘調査報告書、近江国府跡・管池遺跡発掘調査報告書、真野廃寺発掘調査報告書Ⅱ、日吉神宮寺遺跡発掘調査報告書、中村遺跡発掘調査報告書、南滋賀遺跡（北浮田地区）発掘調査報告書、南滋賀遺跡（砂子田地区）発掘調査報告書、滋賀里遺跡（小嶋田地区）発掘調査報告書、穴太遺跡・穴太飼込古墳群発掘調査報告書、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成 27（2015）年度 -
米原市教育委員会	佐加太第 43 号・第 44 号

野洲市教育委員会	平成 27 年度野洲市文化財調査概要報告書、平成 27 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、平成 28 年度野洲市内遺跡発掘調査年報
高島市教育委員会	北仰・桂遺跡、高島市内遺跡調査報告書 - 平成 27 年度 -
竜王町教育委員会	竜王町埋蔵文化財発掘調査資料集Ⅳ
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第 96 号～第 98 号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化 41 号・42 号
京都府	
（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第 130 号
（公財）向日市埋蔵文化財センター	年報 都城 28、長岡京跡 西小路遺跡、長岡京跡 中海道遺跡
綾部市教育委員会	縄文奇妙奇天烈弥生摩訶不思議、久田山時間旅行駅遺失物保管所、青野西遺跡第 7 次発掘調査報告、史跡私市円山古墳災害復旧整備事業報告書、高槻茶臼山古墳内容確認調査報告
京都府教育庁	京都府埋蔵文化財調査報告書（平成 27 年度）
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡試掘調査報告 平成 27 年度、京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成 27 年度、京都市内遺跡発掘調査報告 平成 27 年度
与謝野町教育委員会	平成 27 年度国庫補助事業発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第 12 号、秋野不矩展～創造の美～、麻田浩銅版画コレクション、学校のあゆみ 八木地区編、山里のくらし - 木材生産と大堰川水運 -、むかしのくらしと道具展
（公財）京都市埋蔵文化財研究所	平安京左京四条一坊二町跡、平安京左京二条四坊十五町跡・東京極大路跡、公家町遺跡、伏見城跡・桃山古墳群、平安京左京八条四坊九町跡・御土居跡、平安京左京八条四坊八町跡・御土居跡、平安京左京五条三坊十町跡・烏丸綾小路遺跡、特別史跡・特別名勝 鹿苑寺（金閣寺）庭園、平安京左京一条四坊九町跡・公家町遺跡、平安京左京四条三坊四町跡・烏丸綾小路遺跡、平安京右京六条四坊一町跡・西京極遺跡、平安京右京七条一坊七町跡、法住寺殿跡
伏見城研究会	淀城跡（天守台跡）
京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集 第 14 号、京都橘大学 歴史遺産調査報告 2015
大阪府	
高槻市立埋蔵文化財調査センター	嶋上遺跡群 40、安満遺跡確認調査報告書 - 平成 20・21・22 年度京大農場内確認調査 -
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸＸⅢ
堺市教育委員会	真福寺遺跡（SPJ-4）発掘調査概要報告 - 美原区真福寺所在 -、太井遺跡発掘調査概要報告 -TAI-8・美原区黒山所在 -、新たな百舌鳥古墳群像をめぐって、百舌鳥古墳群の調査 9、百舌鳥古墳群の調査 10、平成 27 年度国庫補助事業発掘調査報告書
（公財）枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財年報 36 2014 年度・37 2015 年度
（公財）八尾市文化財調査研究会	太田川遺跡・恩知遺跡・木の本遺跡・郡川遺跡・神宮寺遺跡・水越遺跡、恩知遺跡・亀井遺跡・竹渕遺跡・水越遺跡、萱振遺跡・北木の本 2 丁目遺跡・成法寺遺跡・中田遺跡・西郡廃寺、平成 27 年度（公財）八尾市文化財調査研究会事業報告
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成 28 年度（2016 年度）-、原田遺跡第 14 次発掘調査報告書
枚方市教育委員会	楠葉中之芝遺跡第 63 次調査報告書、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2015
羽曳野市教育委員会	古市遺跡群ＸＸＸⅦ、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成 25 年度 -
富田林市教育委員会	畑ヶ田遺跡、錦織南遺跡、平成 27 年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書、中野遺跡
泉佐野市教育委員会	三軒屋遺跡・上之郷遺跡 -14-5・6 区・14-3 区の調査 -、上町東遺跡 -15-1 区の調査 -、湊遺跡 -15-1 区の調査 -、湊遺跡 -14-7 区の調査 -、上町遺跡 -15-1 区の調査 -、湊遺跡 -14-1 区・15-3 区の調査 -、平成 27 年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
交野市教育委員会	平成 27 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
吹田市教育委員会	五反田遺跡発掘調査報告書、平成 27（2015）年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概報

四條畷市教育委員会	四條畷市史 第五巻（考古編）、四條畷市文化財調査年報第 3 号、上清滝遺跡・清滝街道発掘調査報告書
河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書 34 ～ 37
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.44・vol.45、館報 19、古墳とは何か - 葬送儀礼からみた古墳 -、大王と豪族 -6 世紀の大和と河内 -、出土品にみる色と輝き、近つ飛鳥をあるく歴史遺産散策マップ、近つ飛鳥への招待、歴史発掘おおさか 2016
吹田市立博物館	博物館だより No.65 ～ No.68、“田園都市” 千里山～大正時代の理想郷～、古代の港か？祭場か？- 五反島遺跡の謎に迫る -、館報 16
大阪府立狭山池博物館	河内の開発と渡来人
大阪歴史博物館	なにわ歴博カレンダー No.60、大阪歴史博物館年報 平成 27 年度
大阪大学埋蔵文化財調査室	大阪大学埋蔵文化財調査室年報 4
大阪大谷大学	歴史文化研究第 16 号、志学台考古第 16 号、論集 他界観
兵庫県	
姫路市埋蔵文化財センター	国指定重要文化財 宮山古墳出土品、宮山古墳、TSBOHORI 2015、御着城跡、姫路城城下町跡 姫路城跡第 328 次発掘調査報告書、辻井遺跡 - 第 31 次発掘調査報告書 -、市之郷遺跡 - 第 12 次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第 334 次発掘調査報告書 -、畑田遺跡 - 第 26 次発掘調査報告書 -、辻井廃寺 第 32 次発掘調査報告書、君田遺跡発掘調査報告書、辻井遺跡 - 第 33 次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第 345 次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫姫路城跡第 348 次発掘調査報告書 -
たつの市埋蔵文化財センター	新宮宮内遺跡の時代
神戸市教育委員会	石材加工からみた和田岬砲台の築造、石の道具・木の道具・カネの道具、神戸の弥生遺跡、昭和のくらし 昔のくらし 10、“でっかいお墓” の誕生 - 弥生の墓から古墳へ -、縄文時代のこうべ、祇園遺跡第 21 次発掘調査報告書、日暮遺跡第 39 次調査埋蔵文化財発掘調査報告書、生田遺跡第 8 次発掘調査報告書、祇園遺跡第 17・18 次発掘調査報告書、平成 25 年度 神戸市埋蔵文化財年報
伊丹市教育委員会	有岡城跡発掘調査報告書ＸＸ
加西市教育委員会	小谷遺跡（第 1 次）、丸山ノ下遺跡・丸山ノ下古墳群
赤穂市教育委員会	有年考古 第 3 号、発掘された赤穂城下町 3
尼崎市教育委員会	尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成 21 年度（3）、尼崎市内遺跡 発掘調査等
加東市教育委員会	加東市文化財年報 -2011・2012・2013 年度 -、加東市文化財年報 -2014 年度 -
川西市教育委員会	平成 26 年度川西市発掘調査報告
上郡町教育委員会	上郡の歌人たち
福崎町教育委員会	埋蔵文化財調査報告書
多可町教育委員会	中野間・山口遺跡
兵庫県立考古博物館	猪渕遺跡、上佐野遺跡、大塚遺跡、生野代官所跡関連遺跡、西岡屋遺跡・ヤケヤノ坪遺跡・柴崎遺跡、西畦野下ノ段・井戸遺跡、兵庫県立考古博物館ＮＥＷＳ vol.18・vol.19
（公財）兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第 94 号・第 95 号
播磨町郷土資料館	播磨町郷土資料館 館報 27
奈良県	
奈良市埋蔵文化財調査センター	赤田横穴墓群・赤田 1 号墳
桜井市立埋蔵文化財センター	史跡纒向遺跡・史跡纒向古墳群 - 保存活用計画書 -、桜井市内遺跡発掘調査報告書 -2013 年度 -、平成 26 年度国庫補助による発掘調査報告書、50 ㎝下の桜井、拓かれた扉、埴輪があった！古墳もあった？、芝遺跡第 32 次発掘調査報告書、「国家誕生の地、桜井を語る」
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.162 ～ No.165、古代瓦研究Ⅶ
橿原市教育委員会	平成 23 年度橿原市文化財調査年報、平成 24 年度橿原市文化財調査年報、平成 25 年度橿原市文化財調査年報、平成 26 年度橿原市文化財調査年報

田原本町教育委員会	弥生遺産Ⅳ～唐古・鍵遺跡の土製品・ガラス etc. ～、田原本町文化財調査年報 24、唐子・鍵遺跡考古資料目録Ⅰ - 土器編 1（絵画・記号・文様）-、小林家文書展 - 庄屋に伝わる 350 年の歴史 -
斑鳩町教育委員会	斑鳩文化財センター年報 第 5 号（平成 26 年度）、斑鳩町内遺跡発掘調査概報 平成 24 ～ 26 年度（2012 ～ 2014）、「藤ノ木古墳と大和の横穴式石室」
上牧町教育委員会	上牧久渡古墳群発掘調査報告書Ⅱ
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告ⅩⅧ
桜井市纒向学研究センター	纒向考古学通信 Vol.8、纒向学研究センター年報 第 3 号、纒向学研究第 4 号
（公財）元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所研究報告 2015
奈良大学文学部考古学研究室	斑鳩大塚古墳発掘調査報告書Ⅱ
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第 29 号
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第三十四集
天理大学考古学・民俗学研究室	古事 第 20 冊
和歌山県	
（公財）和歌山県文化財センター	県指定史跡 水軒堤防、地宝のひびき - 和歌山県内文化財調査報告会資料集 -、西渋田遺跡・東渋田遺跡、木津遺跡、川辺遺跡、小松原Ⅱ遺跡・湯川氏館跡、和歌山城跡、公益財団法人和歌山県文化財センター年報 2015
鳥取県	
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告 11、青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2015、調査研究紀要 7、乙亥正大角遺跡、弥生の港湾集落 青谷上寺地遺跡
（公財）鳥取市文化財団	高住宮ノ谷古墳群・高住宮ノ谷遺跡、金沢坂津遺跡、岩本城跡・岩本古墳群
鳥取県教育委員会	常松菅田遺跡Ⅱ、常松大谷遺跡Ⅱ、高住宮ノ谷遺跡、大桷遺跡Ⅰ、大桷遺跡Ⅱ
（一財）米子市文化財団	川平鉄山跡、坂長ブジラ遺跡・坂長尻田平遺跡、坂長伯楽塚遺跡・伯楽塚 17 ～ 21 号墳、埋蔵文化財調査室年報 3、米子平野の考古学資料 四日市町遺跡、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第 5 号、史跡 青木遺跡（5 号地）
大山町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書Ⅷ
岩美町教育委員会	岩美町内遺跡発掘調査報告書Ⅸ
八頭町教育委員会	郡家西向田遺跡Ⅳ発掘調査報告書、平成 26・27 年度町内遺跡発掘調査報告書、新部庄口下分遺跡群発掘調査報告書
日南町教育委員会	日南町内遺跡発掘調査報告書Ⅸ、新屋石浦ノ空遺跡発掘調査報告書
鳥取大学地域学部考古学研究室	鳥取砂丘の遺跡
鳥取県立むきばんだ史跡公園	史跡妻木晩田遺跡仙谷墳丘墓群発掘調査報告書、妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2016
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	ドキ土器まいぶん No.60･No.61、魚見塚古墳･東淵寺古墳、官道下遺跡 ･灘遺跡、古屋敷遺跡（C･F･H･I 区）、大西大師山遺跡、鈴見 B 遺跡（3 区）、古屋敷遺跡（A･E 区）、古屋敷遺跡（D 区）
島根県古代文化センター	古代出雲ゼミナールⅢ、しまねの古代文化 第 23 号、古代祭祀と地域社会、島根県における古代・中世製鉄遺跡の基礎的調査、考古基礎資料調査にかかる生産遺跡調査報告書 在地陶磁器集成 1（石見部 陶器編）、魚見塚古墳・東淵寺古墳発掘調査報告書、古代文化研究 第 24 号
（公財）松江市スポーツ振興財団	埋蔵文化財課年報〈19〉平成 26 年度、北浦松ノ木遺跡、立ヶ袋遺跡、森屋敷遺跡、外屋敷遺跡
出雲市役所	立岩小丸砦跡、杉沢遺跡・杉沢Ⅱ遺跡・杉沢横穴墓群
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.219
島根大学法文学部考古学研究室	廻原 1 号墳発掘調査報告書
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第 61 号・第 62 号、攻略！おかやまの中世城館 第三巻、初和古墓
津山弥生の里文化財センター	史跡津山城跡、津山城だより No.20、津山弥生の里第 23 号

岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第 8 号、岡山城三之外曲輪跡、南方遺跡、塚段古墳・坂口古墳、岡山市埋蔵文化財センター年報 15、上伊福（済生会）遺跡 2、超巨大古墳の時代
井原市文化財センター	「古代まほろば館」年報 7
岡山県教育委員会	玉から古代日韓交流を探る、岡山県埋蔵文化財報告 46、東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組（報告）- 発掘調査の実施と活用への取組編 -、東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組（報告）- 行政対応編 -
総社市教育委員会	作山古墳測量調査報告書、総社市埋蔵文化財調査年報 25、茶臼嶽古墳
赤磐市教育委員会	国指定史跡両宮山古墳、山の間遺跡、大池尻遺跡
真庭市教育委員会	家の上古墳発掘調査報告、真庭市指定史跡高田城
津山郷土博物館	津山市史研究 第 2 号、津山市史だより第 5 号・第 6 号、津博 No.88・No.89、平成 27 年度津山郷土博物館年報、行列を組む武士たち
岡山県立美術館	美術館ニュース第 112 号～第 115 号
岡山シティミュージアム	岡山びと 第 10 号
岡山大学文学部考古学研究室	岩伏し遺跡第 1 次・第 2 次発掘調査報告書
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.56・No.57、紀要 2015、鹿田遺跡 10
岡山理科大学 自然科学研究所	自然科学研究所研究報告第 41 号
岡山理科大学 地理・考古学研究室	瀬戸内海を科学する Part2、データで見る岡山、佐山東山窯跡群第 5 次発掘調査概報
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 30
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 第 26 号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース 47 号・48 号
高梁川流域連盟	高梁川 74
広島県	
（公財）広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第 116 号、年報 13、平成 27 年度ひろしまの遺跡を語る 鉄の古代史 記録集、国道 313 号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（5）、狐川 1 号遺跡・福原 2 号遺跡・福原 3 号遺跡
広島県教育委員会	平成 26 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
府中市教育委員会	府中市文化財紀要 2、備後国府関連遺跡 1
三次市教育委員会	高杉城堀跡試掘調査・高杉段遺跡発掘調査報告書
福山市教育委員会	福山市内遺跡発掘調査概要 X
庄原市教育委員会	佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書 調査編（1）、庄原市文化財だより第 4 号
尾道市	瀬戸内の覇者 村上海賊、尾道市内遺跡
広島県立歴史民俗資料館	年報 第 32 号 - 平成 25・26 年度 -
広島大学考古学研究室	佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書 調査編（1）、広島大学大学院文学研究科考古学研究室紀要第 8 号
広島大学総合博物館	広島大学所蔵標本・資料 1 、広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第 7 号、HUM-HUM Vol.8・Vol.9
NPO 法人広島文化財センター	陣が平西 2 号遺跡発掘調査報告書 2
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	下津令遺跡 3、殿久遺跡、秋根土塁跡、中ノ浜遺跡、堂道遺跡、陶けん第 29 号、山口県埋蔵文化財センター年報 - 平成 27 年度普及公開事業等の記録 -
下関市立考古博物館	あやらぎ No.27、下関市立考古博物館年報 21、研究紀要第 20 号
山口大学人文学部考古学研究室	古代武器研究 vol.12
山口大学埋蔵文化財資料館	見島ジーコンボ古墳群 第 124 号墳 潮待貝塚 出土資料調査報告、山口県大学ＭＬ（Museum・Library）連携事業報告、てらこや埋文 2016 年春号、山口大学構内遺跡調査研究年報 ＸＸＩ、山口大学埋蔵文化財資料館年報 - 平成 24 年度 -
徳島県	
（公財）徳島県埋蔵文化財センター	拝東遺跡、徳島城下町跡 徳島町 1 丁目地点
吉野川市教育委員会	川島廃寺跡

徳島大学埋蔵文化財調査室	徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター No.2・No.3、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 2、庄・蔵本遺跡 2
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	香川県埋蔵文化財センター年報 平成 27 年度、ぎょくだい遺跡、蒲生遺跡、北岸南遺跡、太田原高州遺跡 2、川北遺跡・住屋遺跡、本村中遺跡、田中遺跡、誉水中筋遺跡
香川県教育委員会	香川県文化財年報 平成 26 年度
善通寺市教育委員会	善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 15・16、旧練兵場遺跡
丸亀市教育委員会	丸亀市内遺跡発掘調査報告書第 14 集
三豊市教育委員会	紫雲出山遺跡、宗吉かわらの里展示館 年報 5
香川県政策部	四国八十八ヶ所霊場第七十番札所 本山寺調査報告書
綾川町教育委員会	丸山窯跡、観音台遺跡
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース vol.33 ～ vol.36
愛媛県	
（公財）愛媛県埋蔵文化財センター	下伊台屋敷遺跡、紀要愛媛 第 12 号、愛比売 平成 27 年度年報
（公財）松山市文化・スポーツ振興財団	文京遺跡 -52 次・54 次調査 -、桑原地区の遺跡Ⅴ、衣山西ノ岡古墳・衣山大塚北遺跡、松山市埋蔵文化財調査年報 27
今治市教育委員会	神宮高田遺跡･四村額ヶ内遺跡 - 第 3 次調査 -、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成 26 年度 個人民間開発に伴う調査）、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成 26 年度 公共事業に伴う調査）、矢田蛇池土壙墓・馬越宮之下遺跡・佐方霜の下遺跡
鬼北町教育委員会	鬼北の『鬼』の起源とは ?- 中世等妙寺の世界観にせまる -、鬼北地域の「城の読み方」を考える
愛媛大学埋蔵文化財調査室	文京遺跡Ⅷ、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2014 年度 -、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2015 年度 -
高知県	
（公財）高知県文化財団	高知県埋蔵文化財センター年報第 25 号、岡遺跡、追手筋遺跡
高知県教育委員会	文化財こうち第 2 号
高知市教育委員会	追手筋遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第 93 号～第 97 号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.24・No.25
香南市教育委員会	東野土居遺跡、西野遺跡ルノ丸地区 2005 年度調査、大崎山古墳、射場屋敷遺跡、岸本飛鳥神社西遺跡
福岡県	
小郡市埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財調査報告書 8、国指定史跡 小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡、大保西小路遺跡 4･5、小郡前伏遺跡 4、福童町遺跡 12、三沢古賀遺跡 4、大保西小路遺跡 3、大板井遺跡 29、大保西小路遺跡 6
久留米市埋蔵文化財センター	南薫西遺跡 - 第 8 次発掘調査報告 -、筑後国府跡 - 第 282 次発掘調査報告 -、十間屋敷遺跡 - 第 4 次発掘調査報告 -、水分遺跡、櫛原侍屋敷遺跡 - 第 19 次発掘調査報告 -、十間屋敷遺跡 - 第 5 次発掘調査報告 -、一丁野屋敷遺跡 - 第 2 次発掘調査報告 -、平成 27 年度久留米市内遺跡群、久留米市埋蔵文化財調査集報ⅩⅥ、久留米市文化財保護課年報 vol.11
北九州市教育委員会	重留遺跡、志井雀木遺跡第 4 地点、若園餅田遺跡、中条遺跡、宮ノ下遺跡、城野方形周溝墓（付 . 猫塚古墳）
大野城市教育委員会	大野城市の文化財 第 46 集 大野ジョーと行く！古代山城大野城跡、御供田遺跡 3、雉子ヶ尾遺跡 2、御笠の森遺跡 6、薬師の森遺跡 3・御手洗遺跡、乙金地区遺跡群 14、後原遺跡 4、乙金地区遺跡群 15、横峰遺跡 2、野添遺跡 5、村下遺跡 3、川原遺跡 4
豊前市教育委員会	大村シトキ遺跡・鬼木中浄坊遺跡・鳥越湯福山遺跡、久路土下川遺跡・久路土日中遺跡

うきは市教育委員会	浮羽町遺跡群Ⅰ
朝倉市教育委員会	黒川院Ⅲ、朝倉市文化財年報（平成 23 年度）、小石原川ダム文化財関係調査報告書
（公財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報 32、研究紀要 - 第 30 号 -、水町遺跡第 4 地点、屏賀坂遺跡第 5 地点、浅川城跡、牛丸遺跡第 2 地点、初音遺跡、大柴山遺跡、重住遺跡、権ヶ迫遺跡第 2 地点、祇園町遺跡第 8 地点、祇園町遺跡第 7 地点、大門遺跡第 8 地点、大手町遺跡第 13 地点、大手町遺跡第 12 地点、菅原神社遺跡 3、菅原神社遺跡 2、貫遺跡、祇園町遺跡第 9 地点
福岡市経済観光文化局	井相田 C 遺跡 11、臼杵端城跡 1、影塚古墳群、金武古墳群 2、雀居 10、雑餉隈遺跡 8、山王遺跡 7、高畑遺跡 - 第 21 次調査 -、牛丸 B 遺跡 1・寺ノ上遺跡 1・羽根戸南古墳群 2、那珂 74･75、博多 153 ～ 156、比恵 70 ～ 75、麦野 A 遺跡 8、吉塚 11、史跡鴻臚館跡、元岡・桑原遺跡群 26・27、藤崎遺跡 20、福岡市埋蔵文化財年報 VOL.29、福岡市埋蔵文化財センター年報第 34 号、元岡・桀原遺跡群
大刀洗町教育委員会	高樋小道遺跡 4 次・高樋八田遺跡 1 次、史跡下高橋官衙遺跡周辺遺跡 6
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 13 号
九州歴史資料館	九歴だより No.43・No.44、九州歴史資料館研究論集 41
福岡大学人文学部考古学研究室	日韓 4 ～ 5 世紀の土器・鉄器生産と集落、韓日の古墳
佐賀県	
佐賀市教育委員会	東名遺跡群Ⅲ、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2013 年度 -、春日丘遺跡 -11 ～ 13 区の調査 -、野田遺跡Ⅱ -2 ～ 4 区の調査 -、東千布遺跡 -17 区の調査 -、一丁田遺跡 -1 区の調査 -、榎木遺跡 -6 区の調査 -、森田遺跡 -7 区の調査 -、増田遺跡群Ⅶ、東名遺跡群Ⅳ
唐津市教育委員会	唐津城跡（Ⅷ）、唐津市内遺跡確認調査（32）
神埼市教育委員会	市内遺跡確認調査概要報告書Ⅷ
佐賀県教育庁	佐賀県の中近世城館 第 5 集 各説編 4
長崎県	
佐世保市教育委員会	史跡福井洞窟発掘調査報告書、佐世保市の文化財を探る
雲仙市教育委員会	真正寺条里跡Ⅱ
熊本県	
宇土市教育委員会	史跡宇土城跡保存管理計画書
大分県	
中津市教育委員会	市内試掘確認調査 中近世城館確認調査（３）長者屋敷官衙遺跡
宇佐市教育委員会	中前田遺跡・寺ノ奥遺跡、市内遺跡発掘調査概報 24
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	山ノ口原遺跡、中床丸遺跡（第一次・二次）、大窪第 1 遺跡、大年遺跡、笹ヶ崎遺跡（第一次～第三次調査）、埋蔵文化財通信ひむか第 18 号、みやざきの埋蔵文化財ハンドブック、宮崎県埋蔵文化財センター年報第 20 号
宮崎市教育委員会	佐土原城跡第 6 次調査、高浜中原遺跡、永尾遺跡（2 区・3 区・5 区）、下北方下郷第 5 遺跡、生目古墳群Ⅵ、史跡穆佐城跡Ⅱ
都城市教育委員会	縄瀬横尾第 3 遺跡、軍神原遺跡、郡元西原遺跡・南畑遺跡、都城市内遺跡 9、山之口一本松遺跡、外之口遺跡、中町遺跡（第 5 次調査）
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第 70 号～第 72 号
（公財）鹿児島県文化振興財団	平成 28 年度 要覧、～かごしまの遺跡～ 第 10 号～第 12 号
霧島市教育委員会	史跡大隅八幡宮境内及び社家跡保存活用計画書
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター	鹿児島大学構内遺跡（郡元団地 H・I-8 区）
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第 56 号～第 58 号、東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の中間報告、埋蔵文化財関係統計資料、『日本における水中遺跡保護の在り方につい

	て』（中間まとめ）、埋蔵文化財調査における図化技術の展開
亀島山地下工場を語りつぐ会	水島のなりたちと亀島山地下工場、ガイドブック 亀島山地下工場
（株）東京航業研究所	信濃町南遺跡Ⅵ
（株）イビソク	白河街区跡・尊勝寺跡・岡崎遺跡、寺町旧域、長岡京跡・大藪遺跡
（株）島田組	株式会社島田組ニュースレター vol.001
（公財）福武財団	公益財団法人福武財団助成活動アニュアルレポート 2016

印刷仕様

紙　　質	表紙：サンマット160kg（PP張り）
	本文：ニューエイジ70kg
	折込：上質紙70kg
D　T　P	Mac OS 10.9.5　Adobe InDesign CS6　Adobe Photoshop CS6
使用フォント	モリサワ OpenType フォント
	（リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ゴシック B101・
	見出ゴシック MB31・じゅん101）
製　　本	無線綴じ

倉敷埋蔵文化財センター年報16
ー平成27・28年度ー

平成30年3月31日印刷発行

発 行　倉敷市教育委員会

編 集　倉敷埋蔵文化財センター

〒712-8046　倉敷市福田町古新田940番地

TEL 086-454-0600

The Annual Report
Of
Kurashiki Archaeological Center

Volume16 2015・2016

Kurashiki
Archaeological Center

March 2018

Ⓑ